



2017 年度

事業報告

目次

P. 1	全体のまとめ
P. 2 ~ P. 9	ワークセンターとよなか
P.10 ~ P.17	工房「羅針盤」
P.18 ~ P.24	工房モコ
P.25 ~ P.33	きらら作業所
P.34 ~ P.41	第2工房「羅針盤」
P.42 ~ P.50	クレヨン
P.51 ~ P.52	ソレイユ
P.53 ~ P.55	やすらぎの家・らしんばんの家
P.56 ~ P.60	相談支援センターきらら

2017年度 豊中きらら福祉会 法人全体のまとめ

2017年度より社会福祉法人のあり方が大幅に変わりました。法人の財務諸表の公開はもちろんのこと事業計画や事業報告、苦情解決の内容や方法、法人指導監査の内容や改善報告書までもホームページで公開しなくてはならなくなりました。また地域貢献の義務が制度化し、幼・障・高の垣根を越えた自助・共助の時代となっていくます。地域の方たちと共に「暮らす」ことは大切なことですが、公的な支援や責任が外された地域社会でどれだけ理解して受け入れてもらえるか疑問が残ります。ただ一方で、グループホームを排除するような「地区協定」が各地で出されましたが、各団体・事業者と共に各議会へ働き掛けを行う中で、民泊と区別してグループホームについては受け入れようと、障害福祉課を招き各地でグループホーム説明会が開かれています。地区協定を書き換えられた地域も出てきています。

ようやく宝山町に新しいグループホームが出来ました。高齢化も進む中で住まいの場の不足はまだまだこれからの課題です。

豊中きらら福祉会の職員体制は、5月1日現在で常勤が68名(男性37名、女性31名)、非常勤94名(男性38名、女性56名)、総勢162名になっています。事業が拡大され、形態が多様化し、仕事の内容や質がそれぞれ違う難しさも加わってトラブルも増えました。障害を持つ人たちにより添い支援するという原点のところで一致できるように、研修、学習、論議をしっかりとし、職員間のコミュニケーションも豊かにし、信頼関係をつくり、暖かい職員集団をつくっていく事が求められています。

2017年度 情勢報告・討議事項（法人全体職員会議と研修）

4月*各作業所の方針

*精神保健福祉法について

*グループホームでのケース検討

6月*グループホームの必要性について

9月*「憲法とテロ等準備罪」について

*憲法9条と緊急事態条項の創設について

9月*不適切な支援と虐待防止について
(権利擁護委員会)

10月*我が事丸ごとと今後の福祉事情を探る

11月*障害者と平和について

12月*衆議院選挙を終えて

*支援する上での距離感

今後の課題：法人運営のあり方も大きく変わり、経営組織のガバナンス強化と事業運営の透明性の向上が謳われてきている中で、賠償責任が法人役員にも発生し、リスク・マネジメントが求められます。法人内の全てのスタッフが、常に規則や規程、マニュアル等を原点に、コンプライアンスを遵守していくことをはじめ、誰からも「あって良かった」と思える場、「働いてよかった」と思える場、誰もが安心して通える場、豊かに生活できる場にしていかなければなりません。

中長期計画を振り返り、先を見通し、理念に沿った事業計画にそって全職員と共有していくことを引き続き行います。

2017（平成29）年度 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員23名）、就労継続支援B型（定員14名）】
 実施施設 名称 ワークセンターとよなか
 所在地 〒561-0858 豊中市服部西町5-18-5
 実施期間 2017（平成29）年度4月1日～2018（平成30）年3月31日 開所日数 258 日

従業員	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	就労支援員	看護職員	栄養士	調理員	事務職員	運転手	機能訓練・マッサージ	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託 税理士	合計（常勤 換算人数）			
	正規	1	1（兼）	6	1											7		
非正規			8		1				1						6.7			
ボランティア等 （内障害者雇用）															0			
計	1	1（兼）	14	1	1	0	0	0	1		0	0	0	0	13.7			
職員入退職状況					新規採用者					2名		退職者					2名	
利用者	身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	未判定	計		
					身・知	知・精	精・身											
	男	3	27	5	35	6	1		0	1	8	6	10	6	0	4	35	
	女	1	8	1	10	2	0		0	2	1	4	2	0	0	1	10	
	計	4	35	6	45	8	1		0	3	9	10	12	6	0	5	45	
平均年齢		45.7		才														
授産活動報告	授産内容			利用者数（人）	職員数（人）	売上額（円）	利用者1人 当たり平均 工賃/月（円）	受注開始年月日										
	自主製品製造販売（陶芸）（生活介護）			17	5	1,124,598	¥4,674	平成20年4月1日										
	内職作業（就労継続B型）			28	10	356,437	¥5,248	平成12年4月1日										
	外部作業（就労継続B型）					2,898,677		平成13年4月1日										
	自主製品製造販売（プリント等）（就労継続B型）					564,129												
その他事業			83,178															
計					5,027,019													
年間行事	4月	入所式・家族懇談会		※調理実習・ハンドマッサージ（毎月1回）														
	5月																	
	6月	避難訓練																
	7月	保護者参加日帰り旅行（淡路島）・健康診断																
	8月																	
	9月																	
	10月	なかまの交流会																
	11月	避難訓練																
	12月	保護者参加もちつき大会、年末お楽しみ会																
	1月	初詣																
	2月																	
	3月																	

ワークセンターとよなか

①【実践】

<生活>

・一日作業に取り組むのが難しい利用者が出てきている。高齢化による体力の低下が著しい。昨年度から体力の衰えが見える利用者に対して所内でも過ごせる環境をとってきて、今年度は3階班に異動する利用者がいた。継続して利用者の選択肢を増やせる取り組みをおこなった。

・金銭の使い過ぎを抑えようとしたり、欲しいものを買うために貯金をする利用者も増え、意識の高まりが感じられた。ただ精神的に不安定になった際には誰にも相談せずに大きな買いものをしてしまったり金銭の貸し借りをしてしまうことがあった。

・ショートステイ利用が増え、自立への意識は芽生えつつある。しかし、家庭との違いに戸惑い、積極的な利用につながらなかったケースもあり、継続した支援が必要である。

<健康管理>

・週に2回、リハビリを目的とした体操の実施を開始したが、筋力の低下が著しい利用者に関しては、まだ大きな改善が見られない。睡眠不足に関しては、通院から日数が空くと再び就寝時間が遅くなる傾向にある。ご家族、かかりつけ医と定期的な情報の共有を続けていかなければならない。

・単身での生活をしている利用者に関しては連絡帳や電話によるご家族、ヘルパーとの密な情報共有により、一定の生活改善が見られた。それに伴い健康状態の改善も見られた。利用時間も増やしたが、様子を見て必要であれば、更に増やす。複数のケースで新たなサービスの利用開始と利用追加があった。どのようなサービスがあるのか分からないというご家族もおられたので福祉制度の説明やサービスの情報提供は今後も必要である。

・短い間なら健康への意識を保つことが出来たが、利用者本人やご家族の意識が少しでも薄れると、すぐに不健康な生活に戻ることがあった。

<環境>

・作品数が増え、保管スペースが減ってきているため、ロフトの収納を工夫した。組み合わせでサイズを変えられるスチールラックを購入、収納を効率化し、省スペースすることが出来た。今後は作品は増えていくので、保管するスペースについては定期的に検討が必要である。

・利用者間のコミュニケーション不足によるトラブルが発生することがあったため、座席配置等に配慮した。また苦手意識のある利用者間には適宜職員が入って会話の促進をおこなった。

・作業や会話がしやすくなり、利用者間のコミュニケーションが活発におこなわれた。ただ体調や精神状態によっては、今まで通りに過ごせない利用者もいたため、恒常的にするのではなく定期的な変更も必要である。

・企業内作業ということもあって冷暖房やトイレなど労働環境が悪い。空調を変えてからも厳しいものがある。工夫を進めるが限界はあり、体調面を気を付ける必要がある。企業内作業ということもあり、避難経路の問題は今後も企業と話し合いを進める。

<労働>

・作品、原画の買い取りを希望する声も徐々に増えてきており、高額の場合の工賃との兼ね合いや手当ての設定等、なかまの会（利用者の全員参加の会議）の議題にも上げ、利用者の意見がきちんと反映されたガイドラインにしなくてはならないが、慎重に進めるべき議題である。今年度はガイドラインの作成を急がず作品毎にご本人、ご家族、後見人と相談の上、その都度決定する形をとった。

・ショップカードを作成した。また、イベントでのアナウンスもおこなった。「たくさんの商品の中から選びたい」というお客様に重宝され「また店舗に伺います」とのお言葉もいただいた。

・お取引先のご紹介等でアクセサリーを中心に、新たに多くの場所で委託取扱いをしていただけた。

・Facebookページの閲覧数や「いいね！」数は着実に増えており「ネットで見ました」というお客様の声も増えてきている。主な売上が委託販売、イベント販売によるもので、店舗「アトリエ・ピース」の集客は現在も課題である。

・企業の要望に応えることができ、安定した内職作業を提供することが出来たが、やや繁忙となり、パソコン作業や絵画制作といったタオル内職以外のことになかなか取り組むことが出来なかった。

・企業の要望には答えられているが、利用者のやりがいを維持しながら効率化を図るのには限界がある。また、売上も企業から提供される仕事量以上は難しいので、新しい事業も視野に入れていく。

・全員で一緒に作業することも減り、所内の利用者も参加することも増えたため説明や取り組みも難しくなっているが、茶話会等を通じて、それぞれの良いところを話す等して、お互いを理解出来る話し合いを持てるようにしていく。

・短い間なら健康への意識を保つことが出来たが、利用者本人やご家族の意識が少しでも薄れると、すぐに不健康な生活に戻ることがあった。

②【権利擁護】

・昨年に比べて数こそは増えたものの、潜在的な数に比べると報告書の数は少ない。実践に直結するものは特に意識して、気付きを皆のものに出来るように報告書を出しやすい環境を考える必要がある。

・自由な意見を出せる環境はあるが、少数意見や意見を出せない利用者の要望に関しては職員がサポートして、全員の意見をまとめていく必要がある。なかまの会を通して出た意見や要望から、作業所の設備等が改善したものもある。

・事故分析等、各自では出来てきているが、複数職員で意見を出しての分析が取り組めていなかった。大きな事故については職員の意識も広げるためにも複数職員での分析に取り組めるようにしていく。

③【記録】

・支援が円滑に行われたことで利用者の要望が叶ったり、新しい目標が出来たりと、生活の満足度が上がるケースが増えた。利用者のご家族の意見が異なっており、利用者が戸惑うことがあった。

・2人の職員でチェックすることにより、ミスを大幅に減らすことが出来た。また、個人日誌以外に班日誌を記入することで、職員が利用者全体を毎日把握することが出来るようになった。しかし、記入する職員が固定化してしまったため、班全体で情報を共有出来ていないこともあった。

・以前は休日のイベントでの記入にミスが多かったが、書き方のフォーマットを見直すことにより ミスを大幅に減らすことが出来た。

④【人材育成】

・日頃からの報連相の意識が高まり「知らない」「聞いていない」は減ってきた。今後も報連相を徹底し、一人ひとりが主体的に仕事に取り組めるようにしていく。

・体制の問題もあるが、夕方など班の職員が残り、一日の振り返りをおこなうことができていた。今後も意図的に時間を作りコミュニケーションを日々とっていく。

・研修には職員間でも負担のないように、参加出来ていた。情勢を学び職員間で共有していく点でまだまだ改善の余地がある。

・市内の事業所へ新人職員1名が一日交換留学に行き他事業所を体験できたことは良かった。視野を広げるためにも、今後も見学等が必要である。

⑤【事業展開】

・体力的なこともあり工場班より1名が3階班へ異動した。全体的な高齢化に伴い、通院や後見人との関わりも増えてきている現状がある。今後も、一人ひとりにあった班編成を構築していきながら、新通所者の受け入れもおこなっていく。

・今年度は休日開所も含め、大きな事故等もなく活動出来た。今後も引き続き地域でのつながりを大切にしていく。

・13名実習生を受け入れ、2名就職した。来年度も実習生を受け入れ予定。

⑥【地域貢献活動】

日程	内容	場所	参加者
①経済の振興に関する活動			
通年	他作業所の委託販売	ワークセンターとよなか	
③教育に関する活動			
6/16	京都造形芸術大学の授業にて講師	京都造形芸術大学	職員
7/25	TOPPOIと施設間留学	ワークセンターとよなか	TOPPOI 職員
10/2・30 11/13・27	職場体験	ワークセンターとよなか	関西福祉科学大学 学生
1/19	ワークセンターとよなかの活動報告	TOPPOI	職員3名
④雇用に関する活動			
通年	豊中市立生活情報センター くらしかんより実習生の受け入れ	ワークセンターとよなか	被保護者就労準備支援事業 の参加者
⑤治安・安全・防災に関する活動			
通年	AEDの設置・情報の開示	ワークセンターとよなか	
8/4(金)～	消防防災協力事業所へ登録・消防局 予防課からの貸与資機材の設置	ワークセンターとよなか	
⑦地域福祉に関する活動			
5/30	バッグ作りワークショップ	ワークセンターとよなか	職員2名
10/5	なかまの交流会	茨木市市民体育館	総勢 20名
11/9	ボランティアと障害者登山の企画・運営	有馬富士公園	2名
1/7	北地区障害者とボランティアの成人のつどいの企画・運営	豊中市立障害福祉センター ひまわり	総計 5名
週1回	セブンイレブン清掃	セブンイレブン	
通年	時間外施設開放	ワークセンターとよなか	
【販売活動】			
4/8	春咲縁日 2017	木口記念会館	職員1名 利用者4名
6/7	アートピクニック 2017	安楽寺	職員2名 利用者2名
6/8	アートピクニック 2017	安楽寺	職員6名 利用者13名
6/11	アートピクニック 2017	安楽寺	職員2名 利用者5名
7/16	あれやこれや & Ma・Chai 訪問	あれやこれや & Ma・Chai	職員2名 利用者8名
9/9	第3回 とよなか国際交流フェスタ	とよなか国際交流センター	職員2名 利用者3名
9/17	あまとよなか vol.2	amato cafe	職員2名 利用者6名
9/23	iraka	河原町妻入商家群	職員1名 利用者3名
9/30	服部・織・人フェスタ 2017	系をかし	職員1名 利用者4名
10/7	丹波篠山 味まつり	河原町妻入商家群	職員1名 利用者3名
10/14	秋空縁日 2017	木口記念会館	職員2名 利用者5名
10/28	素のままフェスタ	アクア文化ホール	職員2名 利用者4名
11/11	ミーツ・ザ・福祉	橘公園	職員2名 利用者5名
11/23	東北⇄関西⇄九州ポジティブ生活文化交流 祭	長居公園	職員3名 利用者5名

【見学・実習の受け入れ】

日程	参加機関	見学・実習の目的
5/30、6/20・23	豊中市立生活情報センター くらしかん	施設見学
7/10・	豊中支援学校	施設見学
7/21・24、8/1	豊中市立生活情報センター くらしかん	施設見学
7/24・25	豊中支援学校	職場体験実習
7/25	TOPPOI	施設間留学
	豊中市立生活情報センター くらしかん	施設見学
8/7	西宮支援学校	施設見学
8/7	大阪府福祉部障がい福祉室自立支援課	施設見学
8/9	豊中支援学校	施設見学
8/25、9/29、 10/2	capacious	施設見学
9/1、11/14	相談支援センター ぱすてる	施設見学
9/12	豊中市立生活情報センター くらしかん	職場体験実習
9/19	さわ病院	施設見学
9/21	豊中市立生活情報センター くらしかん	施設見学
9/26	豊中支援学校	施設見学
10/2・30、 11/27	関西福祉科学大学	職場体験実習
10/3	地域生活支援センター るーぷ	施設見学
10/3	さわ病院	職場体験実習
10/4～10/23	やすらぎの家・ほほえみ	グループホーム世話人勤務の実習 (わーくせんたーにて)
10/16	地域生活支援センター るーぷ	職場体験実習
10/11	大阪労働協会	職場体験実習
11/8	地域生活支援センター るーぷ	施設見学
11/21	豊中市立生活情報センター くらしかん	パーキング清掃の見学
12/1	豊中支援学校	職場体験実習
12/5・21～27 1/25	豊中市立生活情報センター くらしかん	職場体験実習
1/22	ゆめみたす	施設見学

⑦ 【研修参加記録】

日程	研修名	場所	主催	講師名	参加人数
5/18 (木)	第1回 新人研修 [職業倫理]	工房モコ	豊中きらら福祉会	施設長	職員2名
5/19 (金)	職員研修[虐待防止法]	ワークセンター とよなか	ワークセンター とよなか	施設長	全職員
5/25 (木)	生活困窮者自立支援法制度委託事業に係る説明会	くらし館 イベントホール	豊中市市民協働部 くらし支援課	くらし館	職員2名
6/15 (木)	第2回 新人研修 [発達保障論]	ワークセンター とよなか	豊中きらら福祉会	施設長	職員2名
6/27 (火)	豊中市社会福祉施設連絡会人権研修会 福祉施設働く職員の心構えについて	豊中市立福祉会館	豊中市社会福祉施設 連絡会	(株)マリン・リ ソース 野口好美氏	職員1名
6/30 (金)	第1回 職員全体研修 実践研修 [グループホームの必要性について]	障害福祉センター ひまわり	豊中きらら福祉会	三田優子氏	全職員
7/20 (木)	第3回 新人研修[中長期計画]	工房「羅針盤」	豊中きらら福祉会	施設長	職員2名
7/26 (水)	職員研修[サービスの流れについて]	ワークセンター とよなか	ワークセンター とよなか	施設長	全職員
8/17 (木)	第4回 新人研修 [個別支援計画の立て方・考え方]	クレヨン	豊中きらら福祉会	施設長 管理者	職員2名
8/28 (月)	我が事、丸ごと ～地域共生社会の実現に向けて～	とよなか男女共同参画 推進センターすてっぷ	豊中市市民共同部 くらし支援部	後藤信一郎氏	職員2名
8/29 (火)	テロ等準備罪共謀罪の真相に迫る	大阪障害者センター 会議室	共謀罪に反対する 福祉教育関係者 実行委員会	遠地靖志氏	職員1名
9/15 (金) 9/16 (土)	第40回 きょうされん全国大会 in 北海道	札幌コンベンション センター	きょうされん	藤井克徳氏	職員1名
9/21 (木)	第5回 新人研修 [障害者の歴史]	第2工房「羅針盤」	豊中きらら福祉会	施設長	職員2名
9/29 (金)	第2回 職員全体研修 人権研修 [虐待と不適切な支援]	障害福祉センター ひまわり	豊中きらら福祉会	久岡英樹氏	全職員
10/1 9 (木)	第6回 新人研修[社会保障論]	きらら作業所	豊中きらら福祉会	施設長 管理者	職員2名
10/2 0 (金)	第3回 職員全体研修 情勢学習 [平成30年度障害者福祉サービス等 報酬改定について]	障害福祉センター ひまわり	豊中きらら福祉会	西村直氏	全職員
11/2 4 (金)	第4回 職員全体研修 平和学習 [大阪大空襲の体験と今後 の平和について]	障害福祉センター ひまわり	豊中きらら福祉会	久保三也子氏	全職員
1/23 (火)	多機関連携のワールドカフェ 我が事丸ごと地域共生社会の 実現に向けて	豊中市立文化芸術 センター	豊中市社会福祉協議会 一般社団法人キャリア ビレッジ	くらし館	職員1名

⑧【会議参加記録】

日程	会議名	場所	内容(目的)	参加人数
2か月 1回	所内合同会議	ワークセンターとよなか	定例会議	正職員5名 非常勤職員5名
1・2 か月1回	授産会議	ワークセンターとよなか	定例会議	正職員3名 非常勤職員3名
2か月1回	やすらぎ会議	やすらぎの家	定例会議	1名
4/11 4/14 4/26 6/22 7/7 7/12	日帰り旅行実行委員会議	ワークセンターとよなか	日帰り旅行に向けての確認	正職員2名 非常勤職員2名
随時	リーダー会議	ワークセンターとよなか	定例会議	正職員4名
随時	中長期検討委員会 機関紙編集委員会 暮らしの場検討委員会 啓発活動委員会 研修委員会 年末お楽しみ会 権利擁護委員会 災害対策委員会	法人内施設	各事業所の担当者が集まり、各委員会の企画、実施等の話し合い	各担当職員
5/16	なかまの店総会	社会福祉協議会	総会	職員2名
7/18 9/19 1/16	なかまの店運営委員会	社会福祉協議会	定例会議	職員1名
6/11	とよなか国際フェスタ会議	とよなか国際交流センター	とよなか国際フェスタに向けての確認	職員1名
6/26 7/24 8/28 9/25 10/16 11/28	素のままフェスタ会議	豊中市立障害福祉センター ひまわり	素のままフェスタに向けての確認	職員2名
8/1 9/1 9/26 10/13	ボランティアとの 成人のつどい会議	ワークセンターとよなか	成人のつどいに向けての確認	職員2名
9/1 10/3 11/9	障害者登山会議	蛭池公民館	障害者登山に向けての確認	職員1名
11/10 11/16 12/15 12/21	ボランティアとの 成人のつどい会議	ワークセンターとよなか	成人のつどいに向けての確認	職員2名
9/7 10/12 11/13 11/20 11/16 12/15	年末お楽しみ会会議	ワークセンターとよなか	年末お楽しみ会に向けての確認	職員1名
11/13	もちつき大会実行委員会 会議	ワークセンターとよなか	もちつき大会に向けての確認	正職員3名 非常勤職員2名
12/21	年末お楽しみ会会議	ワークセンターとよなか	年末お楽しみ会に向けての確認	職員1名
1/4	成人のつどい会議	さつき障害者作業所	成人のつどいの企画リハーサル	職員2名
2/1	成人のつどい会議	ワークセンターとよなか	成人のつどいの総括案の確認	職員2名
その他定例会議				
週1回(事業所内)	班会議(1階・3階・工場)	法人全体		
週1回(主に水曜)	正職員会議	2か月に1回(月初めの月曜) 全体会議	2か月に1回 (研修)	

(理事会用)
平成29年度 コーケンターとよなか利用状況

生介I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者
定員	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	
区分2													0	0.000
区分3		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
区分4	107	116	122	110	109	110	110	110	106	99	105	111	1,315	5.137
区分5	104	116	122	119	120	123	124	121	122	114	117	133	1,435	5.605
区分6	58	57	64	49	59	58	63	59	58	56	56	60	697	2.723
延べ利用者数	269	289	308	278	288	291	297	290	286	269	278	304	3,447	
区分5・6(%)	60	60	60	60	62	62	63	62	63	63	62	63	61.85	13.465
利用率(%)	91.5	103.2	95.7	94.6	98.0	86.6	88.4	90.1	102.1	101.1	104.5	103.4	96.18	

就継B型	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2.402
定員	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	
未判定	59	68	80	70	44	42	44	43	48	37	37	43	615	2.402
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
区分2	52	59	62	61	73	76	69	80	71	65	78	89	835	3.262
区分3	220	211	264	237	241	234	236	202	190	171	182	205	2,593	10.129
区分4	63	71	70	69	72	78	81	101	96	91	91	102	985	3.848
区分5	32	17	22	19	20	18	21	20	19	19	19	21	247	0.965
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
延べ利用者数	426	426	498	456	450	448	451	446	424	383	407	460	5,275	20.605
利用率(%)	88.2	92.6	94.1	94.4	93.2	81.2	81.7	84.3	92.2	87.6	93.1	95.2	89.8	

年間平均利用者数

生活介護	平均利用率	12.81	14.45	13.39	13.24	13.71	12.13	12.38	12.61	14.30	14.16	14.63	14.48	13.5
開所日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	256
	21	20	23	21	21	24	24	23	20	19	19	21		

B型	平均利用率	20.29	21.30	21.65	21.71	21.43	18.67	18.79	19.39	21.20	20.16	21.42	21.90	20.6
開所日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	256
	21	20	23	21	21	24	24	23	20	19	19	21		

2017(平成29)年度 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス【生活介護型(定員20人)、就労継続支援B型(定員20人)】

実施施設 名称 工房「羅針盤」

所在地 〒560-0052 豊中市春日町3-1-41

実施期間 2017(平成29)年度4月1日～2018(平成30)年3月31日 開所日数 243 日

従業者	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	就労支援員	看護職員	栄養士	調理員	事務職員	運転手	機能訓練・マツサージ	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託 税理士	合計(常勤 換算人数)									
	正規	1	1(兼)	7	1											9								
	非正規			11(兼1)	1(兼)	1			4(兼2)	1	1					10.1								
	ボランティア等 (内障害者雇用)			2												1								
	計	1	1(兼)	18(兼1)	2(兼1)	1			4(兼2)	1	1	0	0	0	0	19.1								
職員入退職状況					新規採用者					4 名					退職者(非常勤)					1 名				
利用者	身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	未判定	計								
					身・知	知・精	精・身																	
	男	27	2	24	53	0	1	24	14	14	4	3	1	0	17	53								
	女	7	1	10	18	0	0	4	1	4	2	3	2	0	6	18								
	計	34	3	34	71	0	1	28	15	18	6	6	3	0	23	71								
平均年齢		51.0		才																				
授産活動報告	授産内容			利用者数(人)	職員数(人)	売上額(円)	利用者1人当たり平均工賃/月(円)	受注開始年月日																
	ガラスアート事業収入			10	4	355,652	3,730円	平成18年4月1日																
	内職事業収入			24	5	721,355		平成10年4月1日																
	製菓販売収入			13	4	1,062,805		平成10年4月1日																
	マット・ミサンガ			13	5	243,550		平成18年4月1日																
	アロマキャンドル			15	4	223,075		平成18年4月1日																
計					2,606,437																			
年間行事	4月	誕生日会																						
	5月	社会見学・誕生日会・上野いきいきフェスタ																						
	6月	誕生日会																						
	7月	誕生日会																						
	8月	誕生日会・宮山盆踊り・野畑まつり																						
	9月	誕生日会・Sネットフェスティバル																						
	10月	社会見学・誕生日会																						
	11月	誕生日会・桜井谷文化祭																						
	12月	誕生日会																						
	1月	誕生日会																						
	2月	誕生日会																						
	3月	誕生日会																						

工房「羅針盤」

①【実践】

本人及び家族の高齢化や重度化、生活の乱れ、行方不明、無銭飲食など多様な課題があった。状況に応じて訪問やケース会議等支援方法の検討をおこなうが、未だ解決に至らないこともある。日頃から信頼関係を構築し、安心して暮らせるような支援を考えていく必要がある。

<作業提供>それぞれがやりがいや役割を持って作業に携わることができるよう調整を図った。混乱や興奮される方に対して、不安などの気持ちに寄り添いながら支援した。
<販売活動>自主製品の質の向上を図るとともに、新規の販売先の開拓もおこなった。オリジナルエプロンを活用し始めた。

重度者や車椅子を使用されている利用者が増えており、現状は自力の方のトイレ時間を把握しつつ、トイレ誘導が必要な方は時間を決めて誘導をおこなっている。しかし急な対応などが難しく間に合わない方もおられた。他に重度な方でも座りやすいよう、肘おき付きの大きめの椅子を購入し安定して座れるよう配慮をおこなった。

44名の方が健康診断を受けており、希望が無かった方は主治医で受診された結果を提出いただいている。
インフルエンザ予防接種も実施したが、年明けからインフルエンザが流行し、感染拡大を防ぐため手洗いうがいの声掛けや手すりの消毒を徹底した。

②【権利擁護】

昨年度までは報告書の作成者に偏りがあった為、今年度からは職員の打ち合わせ時に、ひやりハットや事故に繋がるケースがなかったかを振り返る時間を作った。気付きも増え、作成者の偏りも少し軽減されている。来年度も継続し、さらに職員の気付きが増えるよう取り組んでいきたい。

昨年度に比べ、今年度は内職や製菓に関する外部からの苦情やトラブルが増えている。いずれも納品をする前に責任を持ってすすめていけば防ぐことができた件だった為、今後は担当職員としての責任を自覚し、行動することが問われる。

③【記録】

日誌については毎日夕方にスタッフ間でミーティングをおこない、利用者の様子・検討事項を話し合い明確に記載しスタッフ全員が共有できるように取り組みをおこなった。出勤簿、サービス提供記録は必要事項の記入をおこなった。

送迎実施記録については、送迎時間、送迎の順番、利用者の出欠等を明確に記載をおこなった。当日利用者の休みの連絡があれば、即時にドライバーに連絡をおこなった。

④【人材育成】

昨年度の課題として、連絡系統がまとまっていなかったため、正確な報告がされず、問題解決のための対処が遅れたことがありましたが、今年度から責任者に一元化したことにより、滞ることなくスムーズに報告・連絡が相互になされるようになった。

昨年に引き続き、外部の研修などにも積極的に参加できたが、毎年実施してきた独自の新人研修が適切な時期に開催できなかった。これは管理者の時間調整が困難になったことから、従来は休日に実施していた研修を数回に分け平日の夕方に実施することになったが、タイムリーに開催できるよう、引き続き調整をおこなう。

「らしんばんの家」の職員派遣などのバックアップに際しては、派遣される職員はもとより、現場の職員間でもフォローし合い、暮らしの一部分だけでなく生活全般に亘る利用者の支援という視点を大切に、作業所とホームの両立を目指す。

常勤、非常勤の連携では、週1回のペースで意見・情報交換する場を設け、職員によって支援方針の相違がないよう、取り組むことができている。又、今年度より利用者の帰宅後、職員全体で休憩時間を設けることで、業務に対しても少し余裕をもって働くことができた。

⑤【事業展開】

利用者の増加や利用者の安全・安心、そして設備整備などの観点からも移転または建て替えなどにより、新しい施設・拠点づくりが求められている。そのためにも今後、中長期計画を踏まえながら着実に実行していく。

10月に直撃した台風により屋根が吹き飛び、作業室を中心に浸水、そして電気系統も破損したため、消防設備等も未だ復旧できていないなど、多大な被害を被った。また、老朽化により建物全体が耐用できない状況になっており、早急な復旧が求められている。

今年度は職員及び利用者の異動がなかった。職員については計画的な異動を実施し、人事異動のメリットを最大限に生かしながら、今後の人材育成並びに事業展開の礎にしていく。

⑥【地域貢献活動】

日程	内容	場所	参加者
①経済の振興に関する活動			
毎月第2/4火	イオンバザー	イオン緑ヶ丘店	職員・利用者
毎月第3金	コープバザー	コープ桜塚	職員・利用者
②文化・環境に関する活動			
4/6 (木)	いきいきフェスタ会議	堀田会館	職員1名
7/8 (土)	野畑祭り出店会議	野畑図書館	職員1名
7/9 (日)	野球交流会	熊野田公園	職員5名・利用者8名
7/29 (土)	野畑祭り出店会議	野畑図書館	職員1名
9/23 (土)	Sネット祭り出店会議	第14中学校	職員1名
③教育に関する活動			
12/8 (金)	北緑丘小学校施設見学実習	北緑丘小学校	
④雇用に関する活動			
通年	障害者雇用	工房「羅針盤」	職員2名
⑤治安・安全・防災に関する活動			
8/18 (金)	消防防災協力事業所資機材の設置	工房「羅針盤」	
通年	消防防災協力事業所登録	工房「羅針盤」	
通年	AEDの設置	工房「羅針盤」	
⑥保健・医療・福祉に関する活動			
9月～2月	大阪保健医療大学後期授業	大阪保健医療大学	職員1名
9/3 (日)	高次脳機能障害講演会	大阪YMCA会館	職員1名
10/1 (日)	東京高次脳機能障害講演会	浜離宮朝日ホール	職員1名
10/14 (土)	高次脳機能障害交通事故弁護士講演会	大阪YMCA会館	職員1名
⑦地域福祉に関する活動			
6/21 (水)	キャンドル教室	千里ニュータウンプラザ	職員1名
8/4 (金)	野畑祭り設営	野畑小学校	職員1名
8/19 (土)	宮山盆踊り設営	赤坂上池公園	職員4名
8/30 (水)	高次脳家族交流会	すこやかプラザ	職員1名
1/24 (水)	高次脳家族交流会	すこやかプラザ	職員1名
【販売活動】			
日程	内容	場所	参加者
5/20 (土)	上野いきいきフェスタ	堀田会館	職員2名・利用者1名
5/21 (日)	上野いきいきフェスタ	堀田会館	職員1名・利用者1名
7/8 (土)	サマーイベント	豊中支援学校	物品のみの参加
7/8 (土)	福祉の就職フェア	千里阪急ホテル	物品のみの参加
7/22 (土)	しんでん夏祭り	新田小学校	職員1名

7/29 (土)	中豊島祭り	中豊島小学校	職員1名
8/5 (土)	野畑夏祭り	野畑小学校	職員2名・利用者2名
8/19 (土)	宮山盆踊り	赤坂上池公園	職員2名
8/19 (土)	豊南カーニバル	豊南小学校	物品のみの参加
8/26 (土)	曽根サマーフェスティバル	曽根駅前	物品のみの参加
9/9 (土)	国際交流フェスタ	国際交流センター	職員1名・利用者1名
9/16 (土)	梅花高校文化祭	梅花高校	職員1名
9/16 (土)	敬老のつどい	西丘小学校	物品のみの参加
10/9 (月)	体育の日イベント	青年の家いぶき	物品のみの参加
10/20 (金)	コラボ祭り	千里センターコラボ	職員1名
11/3 (金)	千里キャンドルロード	千里中央公園	職員2名・利用者3名
11/3 (金)	聖マリア幼稚園バザー	聖マリア幼稚園	物品のみの参加
11/12 (日)	ロータスクラブ文化祭	さわ病院	職員2名
11/12 (日)	桜井谷祭り	桜井谷東小学校	職員2名・利用者2名
11/12 (日)	大阪保健医療大学文化祭	大阪保健医療大学	職員1名

【見学・実習の受け入れ】

日程	参加機関	見学・実習の目的
12/8 (金)	北緑丘小学校	社会見学
8/7~8/11	大阪保健医療大学	学生実習
8/21~8/25	大阪保健医療大学	学生実習
9/6 (水)	大阪保健医療大学	研究論文のためのインタビュー
10/12 (木)	福祉人材センター	職場体験2名

⑦【研修参加記録】

日程	研修名	場所	主催	講師名	参加者
4/15 (土)	親亡き後を考える！事例から学ぶ 「保険」と「相続」	障害者センター ひまわり	TOPPOI・あいる 徳洋福祉会・フレンズ	西村和子氏 鹿野佐代子氏	職員 1名
5/18 (木)	第1回 新人研修「職業倫理」	工房モコ	豊中きらら福祉会	施設長	新人職 員2名
6/15 (木)	第2回 新人研修「発達保障論」	ワークセンター	豊中きらら福祉会	施設長	職員2名
6/30 (金)	第1回 職員全体研修 「障害者の地域生活～グループホーム の必要性」	障害者センター ひまわり	豊中きらら福祉会	大阪府立大学 三田優子准教授	正職員 全員
7/20 (木)	第3回 新人研修「中長期計画」	工房「羅針盤」	豊中きらら福祉会	施設長	職員 3名
7/26 (水)	憲法講演会「テロ等準備罪？ 共謀罪って何やねん」	大阪府障がい者社 会参加促進セン ター	憲法9条・25条を守る大阪 の障害者・府民の会	弘川欣絵氏	職員 1名
7/29 (土)	すべての人に生きる権利！ バッシング社会を乗り越える	大阪弁護士会館	大阪弁護士会・大阪社会福祉 士会・大阪精神 保健福祉士協会・大阪医療リ ハビリカ協会	きょうされん 専務理事 藤井克徳氏	職員 3名
8/17 (木)	第4回 新人研修「個別支援 計画の立て方・考え方」	クレヨン	豊中きらら福祉会	施設長 管理者	職員 3名
8/29 (火)	障害のある人の暮らしを 支える人たちについて	すこやかプラザ	豊中市・豊中市障害者 啓発活動委員会	播本裕子氏	職員 3名
9/3 (日)	高次脳機能障害講演会「退院後、 状況に合わせて考えておくべきこと」	大阪YMCA会館	社会福祉法人 朝日新聞厚生 文化事業団	橋本圭司氏・本田留 美氏・山口加代子 氏・瀧澤学氏・山河 施設長	職員 1名
9/21 (木)	第5回 新人研修「障害者の歴史」	第2工房「羅針盤」	豊中きらら福祉会	施設長	職員 3名
9/29 (金)	第2回 職員全体研修 「不適切な支援と虐待防止」	障害者センター ひまわり	豊中きらら福祉会	久岡英樹弁護士	正職員 全員
10/3 (火)	大阪の福祉医療今こそ 拡充をPart2 カジノより福祉に	M&Dホール	福祉医療の拡充を求め る大阪実行委員会	大阪教育大学 高山新教授	職員 1名
10/19 (木)	第6回 新人研修「社会保障論」	きらら作業所	豊中きらら福祉会	施設長 管理者	職員 3名
10/20 (金)	第3回 職員全体研修「平成30年度障害 者福祉サービス等報酬改定について」	障害者センター ひまわり	豊中きらら福祉会	きょうされん理事 長 西村直氏	正職員 全員
11/24 (金)	第4回 職員全体研修「大阪大空襲 の体験を今後の平和について」	障害者センター ひまわり	豊中きらら福祉会	久保三也子氏	正職員 全員
12/17 (日)	きょうされん第41回全国大会 in京都プレ企画 「障害者権利条約を学ぶ」	立命館大学 朱雀キャンパス	きょうされん第41回全国大 会in京都 実行委員会	きょうされん 専務理事 藤井克徳氏	職員 5名
1/15 22	工房「羅針盤」新人研修	工房「羅針盤」	工房「羅針盤」	山河施設長	職員 2名
1/25 (木)	願いはふつうに暮らすこと	エルおおさか	反貧困ネットワーク大阪 引き下げアカン！大阪の会	吉永 純氏	職員 1名
1/28 (日)	今あらためて憲法について 考える福祉関係者の集い	大阪社会福祉 指導センター	憲法9条・25条を守る大阪 の障害者・府民の会 福祉人材問題検討会（共催）	二宮 厚美氏	職員 3名
1/29 (月)	工房「羅針盤」新人研修	工房「羅針盤」	工房「羅針盤」	施設長	職員 2名
2/24 (土)	きょうされん大阪支部実践研究集会 「みんなでなやもう・実践力UP！」	日本研修センター	きょうされん大阪支部	青木 道忠氏	正職員 全員
2/26 (月)	食品表示に関する研修会	豊中市中央公民館	大阪府主催 豊中市共催		職員 1名
3/9 (金)	きょうされん大阪支部 北摂ブロック研修（憲法）	茨木市 福祉文化会館	きょうされん大阪支部 北摂ブロック	明日の自由を守る 若手弁護士の会	正職員 全員

⑧【会議参加記録】

日程	会議名	場所	目的	参加者
4/6 (木)	ホーム会議	らしんばんの家	定例会議	職員1名
4/6 (木)	上野いきいきフェスタ会議	堀田会館	祭りの打ち合わせ	職員1名
5/11 (木)	担当者会議/ホーム会議	工房「羅針盤」/らしんばんの家	ケース検討/定例会議	職員2名
5/15 (月)	北摂ブロック会議	茨木市福祉文化会館	定例会議	職員1名
6/1 (木)	ホーム会議	らしんばんの家	定例会議	職員1名
6/26 (月)	担当者会議	家庭訪問	ケース検討	職員1名
7/3 (月)	担当者会議	家庭訪問	ケース検討	職員1名
7/6 (木)	ホーム会議	らしんばんの家	定例会議	職員1名
7/8 (土)	野畑祭出店会議	野畑図書館	祭りの打ち合わせ	職員1名
7/21 (金)	担当者会議	家庭訪問	ケース検討	職員1名
7/26 (水)	担当者会議/憲法会議	工房「羅針盤」 障害者社会参加促進センター	ケース検討 全体会議の打ち合わせ	職員1名
8/3 (木)	担当者会議/ホーム会議	さわ病院/らしんばんの家	ケース検討 定例会議	職員2名
8/22 (火)	北摂ブロック会議	工房モコ	定例会議	職員1名
9/1 (金)	〇〇様担当者会議	〇〇様宅	ケース検討	職員1名
9/5 (火)	きょうされん会議	大阪障害者センター	定例会議	職員1名
9/7 (木)	担当者会議/ホーム会議	家庭訪問/らしんばんの家	ケース検討/定例会議	職員3名
9/8 (金)	きょうされん代表者会議	大阪障害者センター	定例会議	職員1名
9/22 (金)	担当者会議/障連協議	家庭訪問/工房モコ	ケース検討/定例会議	職員1名
9/25 (月)	北摂ブロック会議	茨木福祉センター	定例会議	職員1名
10/3 (火)	担当者会議	家庭訪問	ケース検討	職員1名
10/5 (木)	ホーム会議	らしんばんの家	定例会議	職員2名
10/19 (木)	担当者会議	千里みおつくしの杜	ケース検討	職員1名
11/2 (木)	ホーム会議	らしんばんの家	定例会議	職員2名
11/7 (水)	きょうされん会議	大阪障害者センター	定例会議	職員1名
11/17 (金)	障連協議	工房モコ	定例会議	職員1名
11/20 (月)	北摂ブロック会議	茨木福祉センター	定例会議	職員1名
12/7 (木)	ホーム会議	すてっぴ	定例会議・研修	職員1名
12/15 (金)	担当者会議	工房「羅針盤」	ケース検討	職員1名
1/4 (木)	ホーム会議	らしんばんの家	定例会議	職員2名
1/9 (火)	きょうされん会議	大阪障害者センター	定例会議	職員1名
1/11 (木)	担当者会議	家庭訪問	ケース検討	職員1名
1/15 (月)	担当者会議	色えんぴつ	ケース検討	職員1名
定例会議	週1回(水曜日)	終礼		全職員
	2ヶ月に1回	職員全体会議	全体研修	全職員

平成29年度 工房「羅針盤」利用状況

生活介護	生介I		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	平均利用者
	定員		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20		
	区分2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
	区分3		4	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	12	0.049
	区分4		28	27	31	25	29	26	26	27	27	27	27	28	27	27	27	27	28	28	27	27	25	25	30	30	330	1.352
	区分5		205	196	228	213	234	206	206	192	190	192	192	192	190	192	192	192	192	192	183	187	187	187	210	210	2,436	9.984
	区分6		183	184	202	191	196	159	159	186	187	187	192	171	184	184	181	181	192	192	171	171	184	184	181	181	2,216	9.082
	合計		420	408	463	430	460	391	391	407	404	404	412	381	397	421	421	421	421	412	381	381	397	421	421	4,994	20.467	
	区分5・6(%)		92.4	93.1	92.9	94.0	93.5	93.4	93.4	92.9	93.3	93.2	92.9	93.5	92.9	93.5	92.9	92.9	93.2	93.2	92.9	92.9	93.5	92.9	92.9	93.2	93.2	
	利用率(%)		105.0	102.0	105.2	107.5	104.5	97.8	97.8	96.9	101.0	103.0	100.3	104.5	100.2	102.3	102.3	102.3	103.0	103.0	100.3	104.5	100.3	104.5	100.2	102.3	102.3	

就継B型	就B I		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	平均利用者
	定員		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20		
	未判定		251	243	301	265	302	265	284	270	266	265	249	267	3,228	13.230												
	区分1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
	区分2		25	22	27	22	24	30	30	30	32	29	29	32	32	30	30	29	29	30	29	29	29	32	32	332	1.361	
	区分3		41	48	35	29	32	31	34	49	52	53	55	60	519	2.127												
	区分4		63	54	71	61	67	61	65	61	63	57	60	61	744	3.049												
	区分5		0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0.020	
	区分6		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000	
	合計		380	369	437	377	425	387	413	412	411	404	393	420	4,828	19.787												
	利用率(%)		95.0	92.3	99.3	94.3	96.6	96.8	98.3	103.0	102.8	106.3	103.4	100.0	99.0	99.0												
	開所日		4月 20	5月 20	6月 22	7月 20	8月 22	9月 20	10月 21	11月 20	12月 20	1月 19	2月 19	3月 21	合計 244													

2017(平成29)年度 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス【生活介護型(定員18人)】

実施施設 名称 工房モコ

所在地 〒560-0032 豊中市蛸池東町4-5-4

実施期間 2017(平成29)年度4月1日～2018(平成30)年3月31日 開所日数 242 日

	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	就労支援員	看護職員	栄養士	調理員	事務職員	運転手	機能訓練・マッサー	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託 税理士	合計(常勤 換算人数)	
	従業者	1	1(兼)	8												8
			1		1				1	1					1.4	
															0	
			1												0.8	
	1	1(兼)	9	0	1				1	1	0	0	0	0	9.4	
職員入退職状況					新規採用者					退職者					2名	名
利用者	身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	未判定	計
					身・知	知・精	精・身									
	男	19		19	13				10	6	3					19
	女	5		5	4				3	2						5
	計	24	0	24	17	0	0		13	8	3	0	0	0	0	24
平均年齢		38.5		才												
授産活動報告	授産内容			利用者数(人)	職員数(人)	売上額(円)	利用者1人当たり平均工賃/月(円)	受注開始年月日								
	木工製品製作・販売			24名	9名	302,545	3000円	平成8年4月1日								
	リサイクル事業・その他					237,540		平成21年4月1日								
	製菓製作・販売					68,000		平成24年4月1日								
	内職事業					333,112		平成26年9月1日								
				計	941,197											
年間行事	4月	入所式・お花見(スカイパーク)・誕生会														
	5月	お楽しみ会(カラオケ)														
	6月	健康診断・誕生会														
	7月	誕生会														
	8月	誕生会														
	9月	遠足(ハーベストの丘)・防災訓練・スライドショー・お楽しみ会														
	10月	なかまの交流会・誕生会														
	11月	誕生会・インフルエンザ予防接種														
	12月	年末お楽しみ会・年末大掃除・ヒューマンウェーブ・誕生会														
	1月	初詣・書初め・スライドショー・誕生会														
	2月	節分・誕生会														
	3月	家族懇談会・防災訓練														

工房モコ

①【実践】

<生活>

感情のコントロールが難しい方や日中不安定になってしまう方がおられるので、大声を出してしまう方には落ち着けるよう別室での対応をおこないました。集団の中で過ごせる時間が増えたことで他の利用者との交流の機会を持てましたが、互いの関係性からトラブルに繋がることもありました。レクリエーションでは利用者同士が協力する様子がみられました。今後も、より良い関係を築き日中活動に取り組めるよう支援をおこないます。

<労働>

新たな内職作業を請け負い作業の取り組みの選択肢が広がりました。しかし、内職の受注が多くなり授産製品に携われる時間が減ってしまい、商品数の枯渇に繋がりました。今後は授産製品の安定した制作活動に向け、取り組み方の見直しや作業の工夫をおこないます。また、店舗販売をおこなうことで地域の方との交流を通して労働意欲の向上を目指します。

<環境>

車椅子を使用されている方が移動する際は職員が安全確認をおこなっていたので接触事故や大きな怪我はありませんでしたが、今年度あらたに内職を始めたことにより荷物が増え、置き場所の固定ができなかったため荷物の整理や車椅子の移動スペースの確保が必要となっていく予定です。その他では静養スペースにカーテンを設置することが出来ました。

<健康管理>

健康診断で要精査の利用者は心臓のエコー検査を受けて経過観察をすることになりました。インフルエンザにかかった利用者は、別室で対応することで感染の蔓延を防ぐことができました。利用者一人ひとりの健康状態の把握に努め、健康的に過ごせるよう支援します。また、施設内にて服薬管理を徹底します。感染予防については、感染対策用品の定期点検・見直しをおこなっていきます。高齢期の利用者に対しては、通院同行をおこないました。

②【権利擁護】

昨年度と比較すると繰り返し起きていた事案では減少した事案もありましたが、今年度も継続して起きている事案もあります。繰り返し起きていた事案が減少するように今後も職員間で時間・場所・場面・原因の問題点をより細かく分析をおこないます。ひやりハットを通じて事故を未然に防ぐように努めます。報告書の記載では具体的に改善策を記入するように徹底します。

利用者同士の対人関係から繋がった事故や職員の人為的ミスから起こった事故がありました。昨年度に続き、他傷行為ではひやりハットでも繋がっていた事案が事故に繋がったので利用者の様子（予見性）や気づきを職員間で共有と把握し、職員配置も含め改善策の検討をおこない、再発防止に努めます。苦情・相談では利用者・家族の声を拾い上げ、支援内容の見直しをおこない適正に対応をします。

今年度は職員間で運転の指導をおこない丁寧な運転を心がけることを徹底し、昨年度と比較すると車両事故は減少をしました。事故は運転手の周囲の確認不足から発生するので、運転技術に慢心することなく、今後も利用者一人ひとりの命を預かっていることを自覚し常に安全確認をして運転業務に努めていきます。

③ 【記録】

今年度より支援目標の表記を本人の思いに変更し、職員間で検討をおこない、利用者本人の意向を尊重し計画の作成をしました。支援内容が抽象的な記載になっているので、具体的に記載するように徹底します。今後も本人の思いに沿った個別支援計画を作成し実践・支援に活かしていきます。

日誌や出勤簿では記入漏れが昨年度と比較すると減少しましたが、まだ改善には至りませんでした。二人体制で確認をする事が必要となります。個々の記録については利用者の様子を抽象的に記録するのではなく、具体的に記録するように職員間で確認をおこないました。実践に活かせる記録を意識しながら記入することが求められます。

サービス提供記録では日々の支援内容や利用者の様子を記載しましたが、家族の記載について返答していない記録がありました。記載された内容について返答するように徹底します。送迎加算の項目では二人体制で確認をしましたが記入漏れがあり、利用状況を把握し送迎実施記録と照らし合わせ正確に記録することが求められます。

④ 【人材育成】

新人職員の加入、他事業所への異動などが続き安定した職員集団とは言えない一年の中で会議等の充実に努めました。経験年数の格差もコミュニケーションを深めて埋める努力を続け、年度当初に比べて連携は徐々にとれるようになってきています。職員会議では考える力をつけられるように、討議事項で個々で考え発言する機会をつくる事で、情勢や支援方法についての考えや課題などを職員間で共有することができ、解決策を検討しました。今後も情勢や発達保障を軸として支援について深く考え、職員間で論議がおこなえる職員集団が求められます。

各研修の受講後は職員会議にて報告し、職員間で情報の共有をおこないました。周知方法は変更しましたが、個々での確認に留まったので職員全員で研修案内を確認し積極的に参加していきます。今後も研修は重要であることを個々で認識し受講することで専門性を高め、スキルアップを目指します。

⑤ 【事業展開】

移転について今年度は継続して啓発活動にも取り組み、不動産会社・積水ハウス・ミサワホームなどの専門の協力を仰ぎ、具体的な条件をあげて移転物件の検討をしました。その過程で平米数の確保、家主や地域の方の理解を得る大変さを感じました。今後も専門機関からの協力を仰ぎながら啓発活動をおこない、利用者に安定した支援をおこなうためにも移転場所の確保の検討を引き続き進めていきたいと考えています。

今年度は老朽化による故障（自動扉の故障・裏口扉の破損・空調機器の故障）が相次ぎ、色々と対策をおこないましたが、整備が必要となり、今後修理をすすめていきます。

⑥【地域貢献活動】			
日程	内容	場所	参加者
②文化・環境に関する活動			
7/8 (土)	刀根山まつり実行委員会	刀根山小学校	職員1名
8/5 (土)	東町夏まつり実行委員会	東丘小学校	職員1名
③教育に関する活動			
/ ()	実習の受け入れ	工房モコ	
/ ()	職場体験	工房モコ	
④雇用に関する活動			
5/1 (月)	障害者雇用	工房モコ	職員1名
⑤治安・安全・防災に関する活動			
/ ()	AEDの設置	工房モコ	
/ ()	消防防災協力事業所登録	工房モコ	
/ ()	資機材の設置	工房モコ	
⑥保険・医療・福祉に関する活動			
/ ()	通院支援		
/ ()	時間外支援	工房モコ	
/ ()	刀根山病院を利用されている方の受け入れ	工房モコ	
⑦地域福祉に関する活動			
5/14 (日)	刀根山校区懇談会	刀根山小学校	職員2名
10/15 (日)	立正佼成会一食地域貢献プロジェクト	立正佼成会	職員1名
【販売活動】			
日程	内容	場所	参加者
5月21日	授産品販売	さわワールドフェスタ	職員4名
7月8日	授産品販売	サマーイベント	職員1名
22日	授産品販売	刀根山祭り	職員2名
22日	授産品販売	しんでん夏まつり	職員1名
29日	授産品販売	中豊島祭り	職員1名
8月19日	授産品販売	東丘小学校地域祭り	職員3名
9月16日	授産品販売	梅花祭り	職員3名
10月9日	授産品販売	体育の日	職員1名
15日	授産品販売	立正佼成会	職員1名
11月11日	授産品販売	蛍池祭り	職員2名
【実習の受け入れ】			
日程	実習参加機関	実習の目的	
8/3 (木)	高校二年生	体験実習	
10/13 (金)	大阪労働協会	職場実習	
10/31 (火)	豊中市立第九中学校	体験実習	
11/2 (木)	豊中市立第九中学校	体験実習	
12/11 (月)	梅花高等学校	体験実習	

⑦【研修参加記録】

日程	研修名	場所	主催	講師名	参加者
5/18 (木)	職業倫理	工房モコ	豊中きらら福祉会	管理者	職員 1名
6/14 (水)	南スーダン・シリア最終取材	エルおおさか	九条の会・おおさか	西谷 文和氏	職員 1名
6/15 (木)	発達保障論	ワークセンター とよなか	豊中きらら福祉会	管理者	職員 1名
6/22 (木)	発達障害の気づきと 支援のあり方	すこやかプラザ	豊中市障害福祉課	松岡 太郎	職員 1名
6/30 (金)	グループホームの必要性	障害福祉センター ひまわり	豊中きらら福祉会	三田 優子	正職員 全員
7/5 (水)	腰痛予防対策講習会	特別養護老人ホーム 阪和	中央労働 災害防止協会		職員 1名
7/20 (木)	中長期計画	工房「羅針盤」	豊中きらら福祉会	管理者	職員 2名
7/22 (土)	誰もがいのち輝く	茨木福祉文化会館	社会福祉法人 とんぼ福祉会	近藤 直子	職員 1名
7/29 (土)	すべての人に生きる権利	大阪弁護士会館	大阪弁護士会	藤井 克徳	職員 2名
8/17 (木)	個別支援計画の 立て方・考え方	クレヨン	豊中きらら福祉会	管理者	職員 2名
9/7 (木)	災害時における活動技術	豊中市北消防所	豊中市消防局	消防員	職員 1名
9/15 (金)	きょうさん全国大会 障害のある人たちの ディセントワーク	札幌コンベンション センター	きょうさん 北海道支部	藤井 克徳	職員 1名
9/16 (土)			きょうさん 北海道支部	藤井 克徳	職員 1名
9/21 (木)	障害者の歴史	第2工房「羅針盤」	豊中きらら福祉会	管理者	職員 2名
9/25 (月)	個別支援計画の課題と分析	大阪障害センター	おおさか福祉施設 ネットワークポポロ	松宮 良典	職員 1名
9/29 (金)	不適切な支援と虐待	障害福祉センター ひまわり	豊中きらら福祉会	久岡 英樹	正職員 全員
10/19 (木)	社会保障論	きらら作業所	豊中きらら福祉会	管理者	職員 2名
10/20 (金)	「我ごと・丸ごと」と 今後の福祉事業を探る	障害福祉センター ひまわり	豊中きらら福祉会	西村 直	正職員 全員
11/12 (日)	写真で伝える世界 東北、紛争地からの声	国労大阪会館	障害者福祉職場で 働く全国交流集会	安田 奈津紀	職員 1名
11/24 (金)	大阪大空襲の体験 と今後の平和	障害福祉センター ひまわり	豊中きらら福祉会	久保 三也子	正職員 全員
11/26 (日)	自閉症スペクトラム障害	天王寺区民センター	大阪障害センター ポポロ	楠 凡之	職員 2名
12/5 (火)	個別支援計画の課題と分析	大阪障害センター	おおさか福祉施設 ネットワークポポロ	松宮 良典	職員 1名
12/17 (日)	障害者権条約は わたしたちの宝	立命大学朱雀 キャンパス	きょうさん 京都支部	藤井 克徳	職員 2名

⑧【会議参加記録】

日程	会議名	場所	内容(目的)	参加者
2か月に1回	法人職員全体会議	障害福祉センター ひまわり	全体職員交流・共有・情勢の確認 グループワーク	正職員 全員
2週間 1回	管理者会議	第2工房「羅針盤」	情勢や運営・各事業所についての 話し合いや報告	管理者
毎週 水曜	終礼	工房モコ	討議提案・週果の確認・各委員会の報告事項等	正職員 全員
隔週火曜 (第2・ 4)	木工会議	工房モコ	木工授産製品の取り組みについて話し合い	職員 6名
隔週火曜 (第2・ 4)	製菓会議	工房モコ	製品事業の取り組みについて話し合い	職員 4名
2か月に1回	障害者の豊かな生活を すすめる会	穂積センター	情勢や運営・各事業所について の話し合いや報告	職員 1名
随時	中長期検討委員会 機関紙編集委員会 暮らしの場検討委員会 啓発活動委員会 研修委員会 年末お楽しみ会 権利擁護委員会 災害対策委員会	法人内施設	各事業所の担当者が集まり 各委員会の企画、実施等の話し合い	各事業 所の担 当者
1か月に1回	福祉の店「なかま」会議	すこやかプラザ	運営についての話し合い	職員 1名
4/24 10/23 12/25	きょうされん北摂ブロック 代表者会議	茨木クリエイトセンター	情勢や運営・各事業所について の話し合いや報告	職員 1名
1か月 1回	豊中社会保障審議会	健康づくりセンターたまい	情勢・各団体との意見交流	職員 1名
2か月に1回	障害者の豊かな生活を すすめる会事務局会議	工房モコ	運営についての話し合い	職員 1名
2か月に1回	障害者の豊かな生活を すすめる会	穂積センター	情勢や運営・各事業所について の話し合いや報告	職員 1名
5/29 (月)	おおさか福祉施設 ネットワークポポロ	大阪産業創造館	年次総会	職員 1名
6/2 (金)	おおさか福祉施設 ネットワークポポロ	大阪障害センター	活動方針	職員 1名
6/27 9-25	おおさか福祉施設 ネットワークポポロ	大阪障害センター	情勢・苦情解決の報告 施設訪問について	職員 1名
7/8 (土)	刀根山祭り説明会	刀根山小学校	祭り当日の概要説明	職員 1名
8/5 (土)	東丘小学校地域祭り説明会	東丘小学校	祭り当日の概要説明	職員 1名

平成29年度 工房モコ利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者
生介I	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18		
定員	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18		
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
区分4	37	38	37	35	32	33	35	35	32	26	25	30	395	1.632
区分5	147	150	166	146	140	145	150	142	143	134	115	134	1,712	7.074
区分6	217	217	236	212	215	207	220	215	221	195	215	241	2,611	10.789
合計	401	405	439	393	387	385	405	392	396	355	355	405	4,718	19.496
区分5・6(%)	90.8	90.6	91.6	91.1	91.7	91.4	91.4	91.1	91.9	92.7	93.0	92.6	91.6	
利用率(%)	111.4	112.5	110.9	109.2	107.5	106.9	107.1	108.9	110.0	103.8	103.8	107.1		

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日	20	20	22	20	20	20	21	20	20	19	19	21	242

2017(平成29)年度 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス【生活介護型(定員33人)、就労継続支援B型(定員12人)】

実施施設 名称 きらら作業所

所在地 〒560-0081 豊中市新千里北町2-19-1

実施期間 2017(平成29)年4月1日～2018(平成30)年3月31日 開所日数 250 日

従業者	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	職業支援員	看護職員	栄養士	調理員	事務職員	運転手	機能訓練・マッソー	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託 税理士	合計(常勤換算人数)			
	正規	1(兼)	1(兼)	16	1		1(兼)	1(兼)								16.4		
非正規			6		1				2	1	1				5.4			
ボランティア等 (内障害者雇用)															0			
計	0	1(兼)	22	1	1	1(兼)	1(兼)	1(兼)	2	1	1	0	0	0	21.8			
職員入退職状況					新規採用者					3 名		退職者					3 名	
利用者	身体	知的	精神	難病	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	未判定	計		
						身・知	知・精	精・身										
	男	0	33	0	0	33	17	1		1	18	8	3	3	0	1	33	
	女	1	19	2	1	23	5	3		3	10	3	1	5	1	3	23	
	計	1	52	2	1	56	22	4		4	28	11	4	8	1	4	56	
平均年齢		37.2		才														
授産活動報告	授産内容				利用者数(人)	職員数(人)	売上額(円)	利用者1人当たり平均工賃/月(円)	受注開始年月日									
	配食サービス事業(就労継続支援B型)				8	3	6,837,128	¥14,397	平成16年4月1日									
	自主製品製造販売(生活介護)				48	22	1,019,130	¥4,688										
	内職作業(生活介護)						116,150											
	リサイクル事業収入(生活介護)						105,555											
その他事業収入(生活介護)				456,437														
計				56	25	8,534,400												
年間行事	4月	入所式																
	5月	北丘小さくらんぼ狩り(3年生)・北丘小対面式(1年生)・家族交流会、虹色コンサート(休日開所)																
	6月																	
	7月	北丘小七夕交流(2年生)・前期健康診断、北丘団地祭り																
	8月	北町みんなで楽しナイト(休日開所)																
	9月																	
	10月	なかまの交流会・大阪保健福祉専門学校実習、遠足																
	11月	9中実習・インフルエンザ予防接種、避難訓練、障害者登山(休日開所)																
	12月	年末お楽しみ会、厨房班 大掃除 忘年会(休日開所)、遠足(1F班・厨房班)																
	1月	遠足(2F班)、京都女子大学実習																

※定例月1回開催(誕生会・マイクロドライブ・なかまの店販売当番)

きらら作業所

①【実践】

<生活>

2016年度に引き続き、賑やかな事が多く、大きな声や音で調子を崩してしまう利用者が多くいましたが、支援を通じて自傷・他傷行為が減った利用者もいました。又、集団の中で利用者が成長していく姿も見受けられました。利用者同士でトラブルがあっても自ら仲直りしたり、以前は他利用者のことを気にしていなかった利用者が最近では欠席されている方の名前を何度も呼んだり、相手のことを考えている場面が増えています。

ご家族の高齢化や病気などにより、さらに自宅の状況が変化しています。ご家族や相談支援・関係機関と連携を図り、短期入所の契約及び利用や通院支援を行いました。

<労働>

パニックや不安の原因を考え、それに対し支援を行うことで落ち着き、意欲的に作業に取り組むことが出来る利用者が増えました。

利用者同士の関係性や、一人ひとりの持つ障害特性、又、不安から声が出てしまう利用者が多くいました。その様子を見て、他の利用者が声を出し、声が出るのが連鎖的になってしまうことが多くありました。

今年度の5月より新たにクレヨンの配食サービスをスタートすることができ、配食数が75食から85食に増え、給食数を合わせて約155食の昼食づくりとなりました。来年度はクレヨンの移転・拡張で更なる食数の微増が予想されます。

配食サービス開始当初から取引していた仕入れ先の業者の移転に伴い、7月から仕入れ先の変更を余儀なくされました。取引先が増え、手間も増えましたが、その結果、いろいろな食材の値上げや天候不良などによる予期せぬ値段の高騰が度々あるなか食材費を抑えることができました。配食数が増えたことと食材費を抑えることができたことで、昨年度よりも売り上げを伸ばすことができ、利用者の工賃も工賃規定通りに保障することができました。

<環境>

利用者の障害特性や利用者同士の関係性に留意した支援を実施しましたが、自傷やパニックの際に出る声や音が他の利用者のストレスになる状態は依然として続いています。

製菓作業後の片付けや清掃が不十分だった為、又、作業室が玄関と隣接している為、蟻が作業室内に入ってくる事がありました。玄関の開閉が多く埃が舞うなど、衛生面に問題があると、第三者委員会のネットワークポポロから指摘がありました。調味料を保管しているケースや棚を掃除しました。又、蟻の駆除剤を購入して、蟻の駆除を行いました。毎日、掃除機をかけて清掃を行い、衛生面の改善を行いました。

異物混入対策としては、窓やドアの網戸の目を細かくしました。これにより屋外からの虫やホコリの侵入を防ぐことが出来ました。また、給食室の使用していないコンロや流しの上に台を置いて作業台とし、その台を通路にはみでないように工夫したことで、効率良くより安全に作業できるようになりました。

<健康管理>

健康診断では例年通り結果を各家庭と作業所で保管し、指導などがあった場合は再検査の結果を提出して頂きました。しかし再検査及び治療を受けていない方がいました。

今年度は嘔吐物処理用の道具を見直し、安全性の高い、弱酸性次亜塩素酸を購入し、今まで作業所内とマイクロバスにしか設置していなかったアルコール、使い捨てエプロン等を全車両に設置しました。

インフルエンザの予防接種は利用者25名、職員5名が受診し、うがい、手洗いの喚起をしましたが、年末に利用者8名、職員2名がインフルエンザB型に罹患しました。

訪問歯科受診時、虫歯が見つかったり、痛みの訴えがあった際、個人受診の歯科に繋げ、より深い治療を受けることができました。2名が以前より受診していた障害者歯科で充分とのことで受診を終了し、受診者は18名となっています。

②【権利擁護】

ひやりハット・事故報告書は、該当する職員で作成しました。重大事故や重複する事故に関しては班ごとに分析しました。プロセスレコードを作成するケースもありました。ひやりハット・事故報告書作成後は職員全体に回覧しました。

ひやりハット報告書を作成する職員に偏りがあり、記録の意識に差があることは引き続き今後の課題です。

ひやりハット報告書は事故には至らなかったものの、一つ間違えれば事故につながる危険性のあるもの、そして重大な事故となる前に作成し、問題点を分析し、改善策を検討するものであり、事故報告書は一つの事故の原因を明確にし、二度と同様の事故を繰り返さないために、その事故を分析し、教訓化する為のものです。又、利用者はもちろん、事業所・法人・職員一人ひとりを守っていくものです。2018年度は、これらのことを職員一人ひとりが理解し、実践していかなければなりません。

職員個々の意識不足及び職員連携不足の為、服薬のミスなど重複している事故及びひやりハットが多くありました。重複している、ひやりハット・事故に関しては、その仕組みを変更し再発防止に取り組む必要があります。

ひやりハット・事故が起きた際に、その人がどのような人権侵害を受けるのかといった観点からも考えていく事も重要です。

車両事故は、2016年度より増加しましたが利用者の怪我に繋がるような事故はありませんでした。車両運転は生命を預かっているという意識を常にもち、安全運転を心掛けなければなりません。又、物損車両事故においても、他者や法人の財産に影響するので、慎重な運転が必要です。

相談・苦情報告書では、サービス提供記録の記載において誤解を招いてしまったケースがありました。2018年度はご家族との連絡・連携において誤解を招くことがないように、丁寧に記入する必要があります。

③【記録】

二重チェックや二人体制で行うことにより、昨年度に比べて出勤簿の漏れや間違いが減少しました。しかし、年度途中に出勤簿の記入漏れ、間違いが連続で発生したため、班会議でミスがないように周知しました。

出勤簿の記入を交代制で行うことで多くの職員が記録を行いました。しかし、日誌に関しては個々で書く意識に差があるため、記入漏れがありました。（利用者によって記述の頻度が違う。些細な出来事を記入できなかった等）

サービス提供記録では、利用者の状況を正確に報告しているつもりが、結果としてご家族に「自分は責められているのではないか？」という誤解を招いてしまったケースがあるので、丁寧に記入していく必要があります。

職員の中には、日常業務の習慣性から重要性の意識が薄れてしまったり、制度に関する知識が浅い職員がいました。

身体拘束をした際に記録がなかったことに対して第三者機関ネットワークぼぼろの視察の際に指摘がありました。その為、年度途中から身体拘束実施時は記録しています。

④【職員集団・人材育成】

今年度は現場として、新規職員採用が3名（内非常勤2名）、退職職員が3名（内非常勤1名）でした。又、常勤から非常勤へ勤務形態が変更となった方もいました。職員個々に様々なライフイベント（結婚や出産など）があり、どうしても女性職員が働き続ける上で大きな影響を受けやすいと特に感じた1年でした（身体機能的及び社会的要因と考えられる）。

職員集団の形成や成熟はとても難しい課題であり、信頼関係とコミュニケーションが大きなキーワードです。信頼関係を損なってしまうような行為が発生した1年でした。その事を反省し、2018年度は、専門性のある職員、信用・信頼される職員を目指すなど、職員個々の成長が必要です。

⑤【事業展開】

2017年11月から耐震補強工事が実施されている。しっかりと耐震補強をして頂き、きらら作業所のハード面の安全性向上を行っている。（2018年3月工事終了）

2018年5月1日から「クレヨン」が移転開所予定となっている。「きらら作業所」の飽和状態も考え、「クレヨン」への異動希望アンケートを実施した。異動希望が多くない結果となった。

2018年夏ごろに、新千里南町のグループホームが完成予定となっている。

⑥【地域貢献活動】			
日程	内容	場所	参加者
②文化・環境に関する活動			
11/25(土)	マイクロバス貸出	キッサニア甲子園	豊中市内子ども会
③教育に関する活動			
5/17(水)	さくらんぼ狩り	北丘小学校	利用者、職員
5/19(金)	1年生対面式	北丘小学校	利用者、職員
5/24(水)	日中活動事業所情報交換会	箕面市立多世代交流センター	豊中・箕面支援学校の保護者
5/30(火)	研修講師 (事業所経営に関する研修)	大阪障害者センター	管理者
7/3(月)	七夕交流会	北丘小学校	利用者、職員
9/20(水)	3年生地域学習	北丘小学校	利用者、職員
9/25(月)	運動会予行演習見学	北丘小学校	利用者、職員
10/27(金)	豊中市内障害者事業所 施設間留学発表交流会	あすなろ	職員3名
11/16(木)	学習発表会予行演習見学	北丘小学校	利用者、職員
10/31(火) ~11/2(木)	職場体験実習	きらら作業所	豊中市立第九中学校 生徒(3名)
④雇用に関する活動			
7/8(土)	就職フェア(豊中版)	千里阪急ホテル	管理者
⑤治安・安全・防災に関する活動			
通年	防災協力事業所登録	AED設置	
⑥保険・医療・福祉に関する活動			
5/17(水)	後見人申立相談	豊中総合法律事務所	当事者・母・弁護士・関係機関
6/14(水)	後見人申立診断書作成付添	大阪市内心療内科	当事者・母・管理者
7/19(水)	後見人申立面談付添	大阪家庭裁判所	当事者・母・弁護士・管理者
⑦地域福祉に関する活動			
9/16(土)	敬老のつどい(新千里北町)駐車場提供	きらら作業所	管理者
12/8(金)	所沢市障害福祉課視察	きらら作業所	管理者
2018 1/7(日)	第35回北地区障害者と ボランティアの成人のつどい	豊中市障害者福祉 センターひまわり	利用者、職員
【販売活動】			
日程	内容	場所	参加者
毎月1回	バザー品・授産品 販売	福祉の店「なかまの店」	ご家族・職員
毎月第2 4金曜日	クッキー・ラスク販売	コラボカフェ	ボランティアによる委託販売
毎週水曜日	クッキー納品	北丘小学校	利用者・職員
月に2回 程度	クッキー販売	笹部書店	委託販売
不定期	クッキー・ラスク販売	北町駄菓子屋 (北丘小PTAの個人さん)	委託販売
今年度11月 より不定期	クッキー・ラスク販売/納品	北町ジオマンション内受付	委託販売/利用者・職員納品
5/7(日)	とよの虹色コンサート授産品販売	豊中ローズ文化ホール	管理者

5/26(金)	家族交流会授産品販売	きらら作業所	職員3名
7/22(土)	新田夏まつり授産品販売	新田小学校	職員1名
7/29(土)	北丘団地祭り授産品販売	北丘団地内	厨房班休日開所
8/5(土)	北町みんなでのしまナイト授産品販売	北丘小学校	利用者・職員
9/17(日) ~18(土)	南部フエスティバル授産品販売	野田中央公園	なかまの店他作業所委託販売
9/20(水) ~22(金)	北丘福祉つくってん授産品販売	北丘地域福祉活動支援センター	社会福祉協議会職員委託販売
9/23(土)	ジオマンションキッズフェスタ	北町ジオマンション	元職員委託販売
10/9(月)	体育の日イベント授産品販売	いぶき駐車所	職員3名
10/20(金)	コラボまつり授産品販売	コラボ	利用者・職員2名
10/28(土)	素のままフェスタ授産品販売	アクア文化ホール	職員1名
11/12(日)	ロータスクラブ文化祭授産品販売	さわ病院内	職員3名
11/19(日)	ハンドメイドマルシェ授産品販売	unoダンススタジオ	職員2名
11/23(木)	総合フェスタ授産品販売	梅田第2ビル	夢ひろばボランティアによる委託販売
11/30(木)	ふらっとイオン授産品販売	イオン豊中緑ヶ丘店1階A棟前	利用者・職員
12/6(水)	社会福祉施設連絡会5周年記念式典授産品販売	アクア文化ホール	職員1名
2018 1/20(土)	ジオバザー・紙すき製品販売	北町ジオマンション内	元職員による委託販売
1/27(土)	北町団地国際交流イベント 授産販売	新千里北町団地 集会所	北町駄菓子屋さん委託販売

【見学・実習の受け入れ】

日程	参加機関	見学・実習の目的
5/18(木)	精神科病院入院者	精神科病院から退院に向けての日中事業所実習
6/30(金)	能勢町入所施設利用者（他支援者2名）	入所施設からの地域移行に向けての日中事業所見学
7/4(火)	豊中支援学校1年生保護者見学	実習、進路に向けての見学
7/20(木)	能勢町入所施設ご家族・当事者・支援者	入所施設からの地域移行に向けての日中事業所見学
7/24(月)	豊中支援学校2年生実習（2名）	卒業後の進路に向けての実習
7/27(木)	豊中支援学校2年生実習（1名）	卒業後の進路に向けての実習
8/3(木)	箕面支援学校保護者・先生見学（4名）	子どもの卒業後の進路に向けての見学
8/4(金)	豊中支援学校1年生実習（1名）	卒業後の進路に向けての実習
8/8(火) ~9(水)	豊中支援学校3年生実習（1名）	卒業後の進路に向けての実習
8/9(水) ~10(木)	明光ワークス職員	豊中障がい者施設間職場留学（1名）
9/7(木) ~8(金)	NAGOMI職員	豊中障がい者施設間職場留学（1名）
10/4(水)	当事者・相談員（ばすてる）就B見学	障害福祉サービス利用における事業所見学
10/16(月) ~27(金)	大阪保健福祉専門学校	介護福祉士 資格実習（2名）
10/19(木)	大阪府精神障害者家族会連合会（4名）	箕面市・池田市に事業所を設立する為の見学
10/19(木)	当事者（難病）相談員（ばすてる）	就労継続支援B型事業所の見学
10/31(火) ~11/2(木)	豊中市立第九中学校	職場体験実習（3名）
11/13(月) 11/14(火)	箕面支援学校2年生実習（1名）	卒業後の進路に向けての実習
11/30(木)	豊中支援学校1年生実習（1名）	卒業後の進路に向けての実習
12/11(月) 18(月)	能勢町入所施設 当事者・支援者	入所施設からの地域移行に向けての日中事業所見学
2018 1/23(火)	豊中支援学校2年生実習（1名）	卒業後の進路に向けての実習
1/29(月) ~2/9(金)	京都女子大学	保育士 資格実習（3名）

⑦【研修参加記録】

日程	研修名	場所	主催	講師名	参加者
4/27 (木)	特定給食施設等研修会 (食中毒予防)	豊中市すこやか プラザ	豊中市保健所	豊中市保健所 衛生管理課 吉原 久美子	職員1名
5/13 (土)	豊中で発達保障を 学ぶ会	ひまわり	豊中で発達保障を 学ぶ会	龍谷大学 非常勤講師 宮本 郷子	職員1名
5/18 (木)	新人職員研修 ＜職業倫理＞	工房モコ	豊中きらら福祉会	施設長	職員4名
6/15 (木)	新人職員研修 ＜発達保障＞	ワークセンター とよなか	豊中きらら福祉会	施設長	職員4名
7/1 (土)	豊中で発達保障を 学ぶ会	ひまわり	豊中で発達保障を 学ぶ会	龍谷大学 非常勤講師 宮本 郷子	職員1名
7/20 (木)	新人職員研修 ＜中長期計画＞	工房「羅針盤」	豊中きらら福祉会	施設長	職員2名
7/26 (水)	テロ等準備罪？ 共謀罪って何やねん ～監視社会はいやや～	大阪府障がい者 社会参加促進セン ター	憲法9条・25条を守る 大阪の障害者・府民の会	弘川欣絵 弁護士	職員1名
8/17 (木)	新人職員研修＜個別支援計 画 の立て方・考え方＞	クレヨン	豊中きらら福祉会	施設長	職員2名
9/2 (土)	豊中で発達保障を学ぶ会	ひまわり	豊中で発達保障を学ぶ会	龍谷大学 非常勤講師 宮本 郷子	職員1名
9/21 (木)	新人職員研修 ＜障害者の歴史＞	工房「第二羅針盤」	豊中きらら福祉会	施設長	職員2名
10/1 8 (水)	特定給食講演会Ⅱ	大阪市立住吉区民 センター	公益社団法人 大阪府栄養士会	品川 英朗 亀田 誠	職員1名
10/1 9 (木)	新人研修＜社会保障論＞	きらら作業所	豊中きらら福祉会	施設長	職員3名
10/2 3 (月)	会議の進め方について	豊中市立福祉会館	豊中市 豊中市社会福祉 施設連絡会 共催	京都光華女子大学 短期大学部 教授 森際孝司	職員1名
11/2 1 (火)	ネットワークポポロ (第三者機関) 施設訪問監査等	きらら作業所	ネットワークポポロ	久岡 英樹 弁護士	職員1名
11/2 5 (土)	豊中で発達保障を 学ぶ会	ひまわり	豊中で発達保障を学ぶ会	龍谷大学 非常勤講師 宮本 郷子	職員1名
12/1 4 (木)	第41次国会請願署名 募金運動学習会	大阪社会福祉指導 センター	きょうされん大阪支部	きょうされん 事務局次長 中村 英治	職員1名

8【会議参加記録】

日程	会議名	場所	内容(目的)	参加者
2か月 1度 第3 火曜日	なかまの店運営委員会	豊中市すこやかプラザ 2階会議室	運営状況報告 店番等運営について 出張店について	職員 1名
毎月第3 月曜日	北摂ブロック担当者会議	茨木市 クリエイトセンター	全国の動き・情勢について報告 各職場交流 研修の運営について	職員 1名
2か月 1度 第2 土曜日	障害者の豊かな生活を すすめる会	穂積センター 又は蛍池会館	法人内各事業所報告 G・H、親の会報告など	職員 1名
2週間 に1回	豊中きらら福祉会 管理者会議	第2工房「羅針盤」	法人全体、各事業所 の運営に関わる議案 その他	職員 1名
1週間 に1回	きらら作業所・チーフ会議	きらら作業所	各班報告、運営、GH、見学者、そ の他議題など	施設長 チーフ 5名
1週間 に1回	きらら作業所・全職員会議	きらら作業所	現場支援のあり方、運営 その他議題など	きらら 作業所 全職員
随時	中長期検討委員会 機関紙編集委員会 暮らしの場検討委員会 啓発活動委員会 研修委員会 年末お楽しみ会 権利擁護委員会 災害対策委員会	法人内施設	各事業所の担当者が集まり、各委 員会の企画、実施等の話し合い	各担当者
4/11 (火)	障害者(児)を守る 全大阪連絡協議会	大阪市立社会福祉センター	社会情勢、児童・医療分野連携 報告、大阪府福祉医療費助成制度 についての報告など	職員 1名
4/24 6/29 10/16	虹色コンサート実行委員会議	箕面市文化センター	コンサートの企画打ち合わせ	職員 1名
5/19 9/8	担当者ケース会議	きらら作業所	情報共有など	職員 1名
5/26 6/16 7/21 10/24	施設間留学実行委員会	あすなろ	施設間留学実施に向けた打ち合わせ会議	職員 1名
6/13 8/2	なかまの交流会事務局会議	ともしび園	なかまの交流会開催に 向けた打ち合わせ	職員 1名
6/22 (木)	第37回とよの障害者登山	蛍池公民館	当日の登山計画の検討	職員 1名
6/26 8/28	第1回 素のままフェスタ実行委員 会	ひまわり	フェスタ内容、役割確認、後援 依頼、チラシ配布・協賛、協力 依頼ボランティア依頼について	職員 1名
6/29 7/27 8/24	なかまの交流会実行員会	茨木市クリエイトセンター	なかまの交流会開催に 向けた打ち合わせ	職員 1名
7/6 (木)	第2回豊中市 障害者就労支援連絡会	ひまわり	障害者就労についての最近の動向 についての講演と意見交換	職員 1名
7/7 (金)	第2回なかまの 交流会事務局会議	茨木南市民体育館	なかまの交流会下見・打ち合わせ	職員 1名
7/11 (火)	障害者(児)を守る 全大阪連絡協議会 幹事会	大阪市立社会福祉センター	社会情勢、大阪府福祉医療費助成 制度についてなど	職員 1名
7/12 (水)	障害者の豊かな生活を すすめる会 総会	いぶき	活動報告、議案提案、議案採決 福祉会の歴史・GHの説明など	職員 1名

7/18 (火)	豊中市障がい者 施設長会	みずほ・おおぞら	施設見学(みのり)、施設間留学、各施設情報交換など	職員 1名
7/24 9/25	素のままフェスタ 実行委員会議	ひまわり	チラシ原案、ステージボランティアについて 協賛、協力進捗状況、 当日パンフレット原案確認	職員 1名
7/26 (水)	事業懇話会勉強会事務局	大阪障害者センター	連続研修について	職員 1名
8/1 9/26 11/10	成人のつどい事務局会議	ワークセンターとよなか	成人のつどいの流れ、組織部 企画部、参加者案内状、来賓の 確認、物品当日の担当、音響 設営について	職員 2名
8/22 (火)	豊中市障がい者 施設長会	ひまわり	施設間留学、見学会、各施設 情報交換など	職員 1名
9/1 (金)	成人のつどい 実行委員会議	さつき作業所	顔合わせ、成人のつどいの流れ テーマ、担当について	職員 2名
9/1 (金)	第37回とよの障害者登山 実行委員会	蛍池公民館	登山当日のレクリエーション等検 討	職員 1名
9/1 10/23	事業懇話会勉強会事務局	大阪障害者センター	法人間連携、制度オンブズマン等 について	職員 1名
9/7 (木)	第3回豊中市 障害者就労支援連絡会	くらしかん	就労移行支援事業所による講演 と意見交換	職員 1名
9/19 (火)	クッキー・ラスク 販売について	きらら作業所	ジオ千里中央受付にクッキー ラスクを置いて頂くための企画会 議	ジオ千里中央 管理組合理事 長 ・理事/岩本
10/3 (火)	第37回 とよの障害者登山実行委員 会	蛍池公民館	一庫公園から有馬富士公園 に行き先変更・緊急会議	職員 1名
10/13 (金)	成人のつどい実行委員会議	茨木市クリエイティブセンター	会場、要員、分担金 参加者案内状の発送について	職員 2名
10/16 (月)	素のままフェスタ 実行委員会議	ひまわり	当日の流れのついて (受付、ステージ、販促、その他)	職員 1名
11/9 (木)	第37回とよの障害者 登山実行委員会議	中央公民館	当日直前会議・細かな打ち合わせ	職員 1名
11/16 (木)	成人のつどい実行委員会議	ひまわり	会場見学、当日の飲食について	職員 1名
11/24 (金)	担当者ケース会議	あすなろ	情報共有など	職員 1名
12/15 (金)	成人のつどい事務局会議	ワークセンターとよなか	担当決め、備品、来賓について	職員 2名
12/19 (火)	担当者ケース会議	あすなろ	情報共有など	職員 2名
12/21 (木)	第4回 成人のつどい実行委員会議	さつき作業所	当日のスケジュール 要員配置、備品について	職員 2名
2018 1/4(木)	第5回 成人のつどい事務局会議	ワークセンターとよなか	当日のスケジュール パンフレット、備品について	職員 2名
1/4(木)	虹色コンサート 実行委員会議	箕面市文化センター	コンサートの企画打ち合わせ	職員 1名

平成29年度 きらら作業所 利用状況

生介 I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者
	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
定員	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
区分2														
区分3	20	20	20	19	35	31	36	30	30	30	31	34	336	
区分4	99	97	107	59	71	77	88	13	19	15	10	10	665	
区分5	175	185	202	199	176	170	186	178	172	173	171	181	2,168	
区分6	442	449	489	468	455	451	484	509	497	462	467	513	5,686	
合計	736	751	818	745	737	729	794	730	718	680	679	738	8,855	35.8
区分5・6(%)	84%	84%	84%	90%	86%	85%	84%	94%	93%	93%	94%	94%	88.7	
利用率(%)	112%	109%	108%	113%	107%	111%	105%	106%	109%	109%	109%	107%	109%	109%

就継B型	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者
	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
定員	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
未判定	39	44	52	57	58	43	52	53	69	64	58	69	658	
区分1														
区分2	8	5	4	2	0	0	0	0	0	0	0	3	22	
区分3	96	87	96	90	94	86	98	87	91	77	88	93	1,083	
区分4	32	31	33	22	29	26	28	29	31	31	23	28	343	
区分5													0	
区分6													0	
合計	175	167	185	171	181	155	178	169	191	172	169	193	2,106	8.5
利用率(%)	73%	67%	68%	68%	72%	65%	65%	68%	76%	76%	75%	77%	71%	71%

開所日(生介)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	20	21	23	20	21	20	23	21	20	19	19	21	248
開所日(就B)	20	21	23	21	21	20	23	21	21	19	19	21	250

2017(平成29)年度 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

実施施設 種別 障害福祉サービス【生活介護型(定員18人)、就労継続支援B型(定員18人)】
 名称 第2工房「羅針盤」
 所在地 〒561-0808 大阪府豊中市原田元町2-25-21
 実施期間 2017(平成29)年度4月1日～2018(平成30)年3月31日 開所日数 243 日

従業者	管理者	サービス管理責任者	生活支援員	就労支援員	看護職員	栄養士	調理員	事務職員	運転手	機能訓練・マッサー・ジ	嘱託医	顧問弁護士	顧問社労士	業務委託 税理士	換算(常勤 人数)
	正規	1(兼)	1(兼)	8	2										
非正規			9		1				3	1	1	1	1	1	8.6
ボランティア等															0
(内障害者雇用)			1												0.4
計	1(兼)	1(兼)	18	2	1	0	0	0	3	1	1	1	1	1	21.0

職員入退職状況 新規採用者 3名 退職者 2名

利用者	身体	知的	精神	計	うち重複			認定区分	6	5	4	3	2	1	未判定	計
					身・知	知・精	精・身									
					男	47	5									
女	6	0	4	10	0	0	0	1	3	3	0	1	0	3	11	
計	53	5	20	78	2	0	6	7	16	15	6	6	0	22	72	
平均年齢		55.9		才												

授産内容	利用者数(人)	職員数(人)	売上額(円)	利用者1人当たり平均工賃/月(円)	受注開始年月日
下請け(タオル折・クーポン券貼り等)	20	5	922,096	¥4,297	平成23年7月
手芸(布ぞうり・ヘアゴム・縫製等)	10	3	516,902		平成23年7月
木工(日用雑貨・玩具等)	20	5	600,237		平成23年7月
製菓(焼ドーナツ)	9	3	998,101		平成23年7月
装飾品(ヘンプブレスレット・ストラップ等)	4	2	99,141		平成24年4月
紙すき(ポチ袋・カレンダー等)	10	2	122,104		平成27年10月
その他			143,845		
	73	計	3,402,426		

年間行事	内容
4月	・街頭署名(曾根・岡町)・花見・消防点検・避難訓練・誕生日会ゲスト:音楽療法
5月	・社会見学(三ツ矢サイダー工場見学 5~6月)・大阪保健医療大学実習
6月	・大阪保健医療大学実習・中途障害者作業所交流会・誕生日会
7月	・大阪保健医療大学実習・野球交流会・木工教室(原田こども園)・誕生日会
8月	・豊南カーニバル・曾根サマーフェスティバル・健康診断(8~9月)・誕生日会
9月	・大阪保健医療大学・梅花高等学校文化祭・誕生日会ゲスト:マジック
10月	・大阪保健医療大学・ダイエー曾根店(贈呈式)・社会見学(伊丹スカイパーク 10~11月)
11月	・木工教室(原田こども園)・誕生日会・インフルエンザ予防接種
12月	・大阪保健医療大学・もちつき大会・木工教室(原田こども園)・体験実習(梅花高等学校学生 4名)・誕生日会
1月	・初詣(原田神社)・大阪保健医療大学実習・誕生日会
2月	・誕生日会:大阪大学落語研究部
3月	・誕生日会ゲスト:歌・踊り(原田こども園) 木工教室贈呈式

第2工房「羅針盤」

①【実践】

<生活 生活介護>

ADLの低下やトイレ介助が必要な新規利用の方が増えたことから、トイレでの順番待ちができておりました。職員間で、多目的トイレの使用や誘導が必要な方を再認識し、利用者の方に声掛けをおこなうことで、トイレの待ち時間は減少しています。

様々な年齢や性格、趣味趣向の方が通われており、ニーズや障害特性もお一人お一人違います。その中で、利用者の方が楽しく穏やかに過ごすことのできる環境の整備をおこないました。今後も利用者のことを第一に考え、来てよかったと思える空間をつくっていかなくてはなりません。

<生活 就労継続支援B型>

- ・利用者それぞれの優先課題を明確にし、ニーズを把握し支援をおこないました。
- ・4部屋に作業場がわかれているため、持ち場を離れる際は職員間の連携を密にとるようにしました。
- ・障害者雇用が1名、就労継続支援A型に1名移行されました。他機関と連携しサポートをおこないました。

<労働 軽作業>

作業が多忙になることが多かったため利用者のやりがいを考慮した上で受注業者を見直し5社から新規業者1社を含む4社に変更しました。新規業者の作業は分かりやすく取り組みやすいもので、利用者の中に作業の集中力が上がる方がいました。その結果、丁度良い作業量で仕事ができています。

<労働 自主製品>

- ・新商品販売を開始し、一定の売り上げにつなげることができた。
- ・既存の販売先からのつながりで、新しいお客様からの注文や、イベントに参加させていただいた。
- ・計画的な在庫の管理ができず、在庫不足になってしまったことがあった。

<環境>

利用状況に合わせて、送迎ルートの見直しをおこないました。各コースの空席も均等になり、新規利用の方もスムーズに受け入れることができています。

建物の老朽化から、梅雨や台風の時期には複数個所での雨漏りが発生していました。雨漏りによる下請け作業への被害も出ておりましたので、改修工事をおこなっていただきました。今後も、安心して過ごすことのできる環境の整備に努めてまいります。

<健康管理>

昨年度から発行している健康だよりを今年度から非常勤の看護師と連携し作成しています。インフルエンザの予防チラシを配布し予防接種を励行しましたが現在まで利用者3名と職員1名が感染しました。来年度はインフルエンザ等の感染症の拡大を防ぐ対策を拡充する必要があります。

②【権利擁護】

・ひやりはっと報告書27件
職員間での伝達・確認不足によるひやりハットが多くあり、中には送迎忘れ等の事故に繋がっているケースもありました。
繰り返し起きているケースも見られたため、報告書を受け各フロア間での意識を高めていく必要があります。

・事故報告書13件

転倒が5件と多くの数を占めたが、見守りをしていても予見性が乏しかったため事故につながったと考えます。

・車両事故6件

事故の時期が続いており職員間で周知しきれていない部分もありました。車両事故に関しては送迎業務のスタッフも報告書の閲覧をおこなっていただきました。

・苦情／相談報告6件

内容として作業内容についてのことが多くあげられました。また、苦情でない意見／要望は報告書としてあげられていないケースもあり、権利擁護委員会を中心にフロア間でも声を掛け合い、利用者の方からの意見・要望について、対応も含めて記録していく必要性があります。

③【記録】

・計画書の期日を確認し、担当者へ作成を促す役割を新たに設けることで、計画書作成が遅延することが減少しました。今後も継続して確認をおこない、期日厳守を念頭に取り組みます。

・会議録に関しては、インデックスを使用し、見出しの確認が簡易となるようファイルの整理をおこないました。

・日誌の様式の変更をおこない、より使いやすい形式になりました。書き方については個人で差があり、誰が見てもわかりやすく、情報共有につながる記入の仕方を意識しなければなりません。

・サービス提供記録については、出勤日の間違いやサービスの付け間違いがないよう、注意して作成をおこないました。

④【人材育成】

日々のミーティングの中で情報の共有はしているが、報告にとどまり「もう少し様子を見る…」と問題の分析が十分に議論されず、曖昧に終わっている内容も見られました。その場で結論にいたらないときは、数日にわたり継続的に話し合い、一定の対処法が出せるよう議論していくことが必要です。

利用者の変化を科学的にとらえる点において、まだ不十分であると感じます。利用者に変化があった時、その原因が突発的な刺激により生じた変化なのか、これまでの蓄積によって起きた変化であるかを分析し対応しなければ、根本の解決には至りません。障害特性や生活環境を把握するためには、コミュニケーションを充実させ、定期的に家庭訪問などをおこなうなど、実態の把握が必要です。

昨年度、短期間で離職する若い職員が多く、今年度は新人職員育成プログラムを作成し、管理者を含むすべての職員が、自己の経験で伝えることができる内容を検討し、先輩職員が講師となって研修を実施しましたが、4月に入職した職員も7月に退職となりました。年度途中に入職した2名については、研修は実施できていませんが、引き続き育成プログラムを実施したいと考えています。

⑤【事業展開】

今年度も大阪市内や尼崎市から新規利用となったかたが数名おられ、今年度については現在の送迎体制で対応することができました。次年度については増車をしなければ、新規の受け入れは困難が予想されます。助成金などを活用し、増車に向けて調整をおこないます。

就労された方2名・諸事情により退所された方3名・ご逝去された方が2名おられ、ご病気の再発で長期欠席される方も多く、利用定員を下回る結果となりました。

障害者雇用で勤務している職員と短時間勤務となった職員を活用し、個人の事務作業で分担可能な事務を振り分けることで、負担軽減につながりました。男性利用者への身体介助が多い中、生活介護の男性職員の定着が不安定な状態が続きました。現在は配置転換をおこない、一時充足しましたが、職員のケガにより再度配置換えが必要な状況です。

グループホームスタッフと情報を共有し利用者の支援をおこなってきました。緊急時のバックアップについては、特定の職員での対応となっています。今後は、現場の支援に偏りが出ないよう全ての職員が対応可能となる体制づくりが必要です。

⑥【地域貢献活動】			
①経済の振興に関する活動			
日程	内容	場所	参加者
4/28(金)	そねサマーフェス実行委員会	タンネ(曾根駅前)	職員1名
5/9(火)	そねまちづくり研究会	中央公民館	職員1名
6/14(水)	そねサマーフェス実行委員会	中央公民館	職員1名
7/7(金)	そねサマーフェス実行委員会	中央公民館	職員1名
8/4(金)	そねサマーフェス実行委員会	中央公民館	職員1名
②文化・環境に関する活動			
日程	内容	場所	参加者
7/30(日)	国際交流フェス実行委員会	エトレとよなか	職員1名
8/25(金)	そねサマーフェス前日準備	曾根駅前	職員3名
8/26(土)	そねサマーフェス当日	曾根駅前	職員5名
8/27(日)	そねサマーフェス片付け	曾根駅前	職員1名
9/12(火)	そねサマーフェス反省会	中央公民館	職員1名
③教育に関する活動			
日程	内容	場所	参加者
7/13(木)	木工教室	第2工房「羅針盤」	職員1名・利用者4名
7/10(月)	大阪保健医療大講義	OCR別館	職員1名・利用者1名
7/31(月)	木工教室	第2工房「羅針盤」	職員1名・利用者5名
9/4(月)	大阪保健医療大実習打合せ	第2工房「羅針盤」	職員1名・利用者10名
12/11(月)	梅花高校実習	第2工房「羅針盤」	当該利用者
④雇用に関する活動			
日程	内容	場所	参加者
7/8(土)	豊中・福祉の就職フェア	千里阪急ホテル	職員1名
7/21(金)	大阪労働協会見学ツアー打合せ	第2工房「羅針盤」	職員1名
8/31(木)	大阪労働協会実習打合せ	第2工房「羅針盤」	職員1名
⑤治安・安全・防災に関する活動			
8/15(火)	消防防災協力事業所物品貸出	第2工房「羅針盤」	職員1名
⑥保険・医療・福祉に関する活動			
11/7(火)	脳外傷によるコミュニケーション研究	第2工房「羅針盤」	職員1名・利用者2名
11/14(火)	脳外傷によるコミュニケーション研究	第2工房「羅針盤」	職員1名・利用者2名
11/23(木)	NPO法人千の風寄席 ボランティア派遣	箕面市立病院	職員2名
11/30(木)	脳外傷によるコミュニケーション研究	第2工房「羅針盤」	職員1名・利用者2名
12/19(火)	高次脳機能障害者支援アプリ研究	第2工房「羅針盤」	職員2名
12/21(木)	脳外傷によるコミュニケーション研究	第2工房「羅針盤」	職員1名・利用者2名
⑦地域福祉に関する活動			
5/20・21(土日)	いきいき上野フェスティバル	堀田老人憩の家	職員2名
5/27(土)	差別解消支援地域協議会	ひまわりセンター	職員1名
7/8(日)	野球交流会(社協主催)	熊野田公園	職員5名
7/27(木)	原田こども園評議会	原田こども園	職員1名
8/18(金)	差別解消支援地域協議会	ひまわりセンター	職員1名・利用者1名
8/19(土)	豊南カーニバル盆踊り	豊南小学校	職員2名
8/30(水)	高次脳家族交流会	すこやかプラザ	職員1名
10/14(土)	原田こども園運動会	原田こども園	職員1名
10/21(土)	イエローシート贈呈式	ダイエー曾根店	職員1名・利用者1名
11/13(月)	原田こども園 評議会	原田こども園	職員1名
12/6(水)	豊中市社会福祉施設連絡会 5周年記念式典 ボランティア派遣	アクア文化ホール	職員1名

【販売活動】			
日程	内容	場所	参加者
5/13 (土)	ロハスフェスタ	万博記念公園	職員1名
5/20 (土)	いきいき上野フェスティバル	堀田老人憩の家	職員2名
5/21 (日)	いきいき上野フェスティバル	堀田老人憩の家	職員2名
8/5 (土)	ロココ夏祭り	ロココ豊中	職員2名
8/19 (土)	豊南カーニバル盆踊り	豊南小学校	職員2名
8/26 (土)	曽根サマーフェスティバル	曽根駅周辺	職員3名
9/2 (土)	曽根公益社バザー	公益社 駐車場内	職員2名
9/9 (土)	国際交流フェスタ	エトレとよなか	職員1名
9/11 (土)	梅花高校文化祭	梅花高校	職員2名
11/5 (日)	小曽根文化祭	小曽根病院	職員2名
11/12 (日)	大阪保健医療大文化祭	大阪保健医療大学	職員1名
11/12 (日)	ロータス文化祭	さわ病院	職員1名
11/18 (土)	豊中市農業祭	豊島公園多目的広場	職員2名
【見学・実習の受け入れ】			
日程	参加機関	見学・実習の目的	
5/9 (火)	大阪府・自立センター	高次脳機能障害者の対応を学ぶ	
5/30 (火)	TOPPOI	高次脳機能障害者の対応を学ぶ	
11/20 (月)	急性期医療センター (府立)	高次脳機能障害の地域生活を学ぶ	
11/27 (月)	けやきの杜 (東京)	高次脳障害のグループホームと作業所見学	
12/11 (月)	梅花高校	地域体験学習	
12/12 (火)	株式会社宝酒造	酒樽を利用した製品についての打ち合わせ	
1/22 (月) ~1/25 (木)	市民後見人 吉田さん	市民後見人実習	
1/24 (水)	葛城病院 大石さん	高次脳機能障害者の地域生活を学ぶ	

⑦【研修参加記録】

日程	研修名	場所	主催	講師名	参加者
4月25日	2016年度 施設訪問会議	大阪社会福祉センター	ネットワークポポロ	松宮弁護士・久岡弁護士 鴻上先生	職員1名
5月18日	新人研修 第1回	工房モコ	研修委員会	施設長	職員1名
5月24日	福祉車両安全運転講習会	大阪国際交流センター	一般社団法人 日本福祉車両協会	日本福祉車両協会	職員1名
6月6日	福祉車両安全運転講習会 ～職員・ドライバー～	第2工房「羅針盤」	車両担当・研修担当 (豊中きらら福祉会)	現場職員	職員4名
6月14日	食中毒・感染症予防対策 講習会	クレオ大阪中央館ホール	大阪府社会福祉協議会	小林紗江氏	職員1名
6月15日	新人研修 第2回	ワークセンターとよなか	研修委員会 (豊中きらら福祉会)	施設長	職員1名
6月17日	大阪障害者フォーラム2017	大阪府障害者 社会参加促進センター	大阪障害者フォーラム	武矢幸信氏 (大阪府職員)	職員1名
6月30日	グループホームの必要性 について(全体研修)	障害者センターひまわり	豊中きらら福祉会	三田優子氏	職員5名
7月3日	食品衛生講習会	豊中市保健所	豊中市	豊中市衛生管理課	職員1名
7月5日	腰痛予防対策講習会～社会福祉・介 護事業向け～	特別養護老人ホーム 阪和手塚山苑	中央労働災害防止協会	中央労働災害防止協会	職員1名
7月20日	新人研修 第3回	工房「羅針盤」	研修委員会 (豊中きらら福祉会)	施設長	職員1名
8月5日	全国障害者問題研究会 第51回in鹿児島	宝山ホール	全国障害者問題研究会	古澤 直子氏	職員1名
8月17日	新人研修 第4回	クレヨン	研修委員会 (豊中きらら福祉会)	施設長	職員1名
9月3日	高次脳機能障害講演会	大阪YMCA会館	朝日新聞厚生文化事業団	山口氏・橋本氏 滝澤氏・山河施設長	職員2名
9月13日	事例検討会～みんなで考えよう ・依存症の本人・家族への支援	大阪府こころの 健康総合センター	大阪府こころの 健康総合センター	新生会病院 和氣浩三氏	職員1名
9月21日	新人研修 第5回	第2工房「羅針盤」	研修委員会 (豊中きらら福祉会)	施設長	職員1名
9月27日	福祉人材における動向と課題	ハルカス23階	福祉人材問題検討会	鴻上圭太准教授	職員1名
9月29日	権利擁護研修(全体研修)	障害者センターひまわり	権利擁護委員会 (豊中きらら福祉会)	久岡英樹弁護士	職員5名
10月3日	人生設計セミナー	エル大阪	大阪しごとフィールド	施設長	職員5名
10月4日	大阪の福祉医療学習交流会	M&Dホール	大阪府保険医協会	高山新氏 (大阪教育大教授)	職員1名
10月14 日	大阪支援集会	YMCA国際文化センター	交通事故被害者 家族ネットワーク	古田弁護士 山口院長・山河施設長	職員2名
10月19 日	新人研修 第6回	きらら作業所	研修委員会 (豊中きらら福祉会)	施設長	職員1名
10月20 日	我がごと丸ごと・今後の 福祉事業(全体研修)	障害者センターひまわり	研修委員会 (豊中きらら福祉会)	西村直氏	職員5名
10月23 日	会議の進め方について	豊中市福祉会館	豊中市・豊中市 社会福祉協議会共催	森際孝司氏 (京都光華女子大)	職員1名
11月10 日	感染予防対策講習会	豊中芸術文化 ホールセンター	福祉と人権の研修 ネットワークおおさか	水谷哲氏 寺地つね子氏	職員1名
11月11 日	ケガの予防の為の指導法	生涯学習センター	NPO法人エクシード	小笠原一生氏 (大阪大学助教)	職員1名
11月11 日	第23回障害福祉職場で 働く職員の全国交流会	国労大阪会館	障害福祉職場で働く職員 の全国交流会実行委員会	グループワーク	職員1名
11月14 日	大阪府高次脳機能障害 養成研修(事業所向け)	大阪府立障害者 自立支援センター	大阪府	中途障害者部会	職員1名
11月24 日	平和学習	障害者センターひまわり	研修委員会 (豊中きらら福祉会)	久保三也子氏	全員
11月30 日	障がい者虐待防止 権利擁護研修	ビッグアイ	大阪府	津田氏・青木氏 東野氏・谷口氏	職員1名
12月10 日	災害ソーシャルワークから 社会的排除を考える	佛教大学 常照ホール	佛教大学福祉教育セン ター	泉氏・後藤氏・所氏 小谷氏・中村氏	職員1名
12月7日	聴覚障害と聴導犬を考える	すこやかプラザ	豊中市・豊中市施設連絡会	安藤 美紀	職員1名
12月12 日	障がい者虐待防止 権利擁護研修 演習	たかつガーデン	大阪府	岸上氏・福添氏 北村氏	職員1名
12月14 日	第41回国会請願署名 募金運動学習会	大阪社会福祉指導センター	きょうされん	坂下 共	職員1名
12月17 日	きょうされん第41回全国大会 障害者権利条約を学ぶ	立命館大学 朱雀キャンパス	きょうされん	藤井 克徳	職員2名
12月21 日	大阪府高次脳機能障害 養成研修市町村セミナー	大阪府自立支援センター	大阪府	施設長	職員1名
1月15日	福祉施設における人材 確保・定着支援セミナー	すこやかプラザ	豊中市社会福祉協議会	森田 定和	職員1名

⑧【会議参加記録】

日程	会議名	場所	内容(目的)	参加者
1か月に1回	きょうされん 中途障害者部会	第2ヒューマン	中途障害の方への支援方法や情勢について	職員2名
1か月に1回	福祉の店「なかま」会議	社会福祉協議会	なかまの店の運営について	職員1名
4月26日	徳〇様 担当者会議	ご自宅	3か月に一度のモニタリング	職員1名
5月13日	きょうされん 総会	大阪市中央会館	1年間の振り返りと今後の展望	職員1名
5月29日	ネットワークボポロ総会	大阪産業創造館	1年間の振り返りと今後の展望	職員1名
2か月に1回	運営委員会	穂積センター	定期会議	職員1名
6月16日	穴〇様 担当者会議	さつき	ご本人の生活について	職員1名
6/19 (日)	豊中市就労支援 センター会議	障害者センターひまわり	定時総会	職員1名
6月20日	高次脳機能障害作業部会	坂本診療所	北摂圏域における高次脳支援について	職員1名
6月23日	豊中障連協 総会	とよなか男女共同参画推進 センター すてっぷ	1年間の振り返りと今後の展望	職員2名
7月12日	すすめる会 総会	青年の家 いぶき	1年間の振り返りと今後の展望	職員1名
7月13日	大阪府交渉	日赤会館	一割負担の排除	職員1名
7月14日	福〇様 担当者会議	ご自宅	通所されるにあたって	職員1名
7月21日	寺〇様 担当者会議	第2工房「羅針盤」	ご本人の生活について	職員1名
8月9日	武〇様 ケースカンファレンス	豊中市立市民病院	ご本人の症状について	職員1名
9月8日	支部代表者会議	大阪社会福祉指導センター	福祉情勢と今後の動き	職員1名
9月9日	玉〇様 担当者会議	ご自宅	ご本人、ご家族の生活について	職員1名
9月12日	大阪府懇談会	大阪府自立支援センター	来年度の支援普及事業について	職員2名
9月14日	きらら9条の会 会議	工房モコ	平和の為	職員2名
9/20 (水)	大阪府高次脳ワーキング グループ 会議	大阪府自立支援センター	支援連携ツール(使ったらええで帳) について	職員1名
9月22日	穴〇様 担当者会議	ご自宅	ご本人の今後について	職員1名
9/25 10/13	武〇様 ケースカンファレンス	関西リハビリ テーション病院	退院の時期、その後の生活 退院について	職員1名
9月29日	豊中市懇談会	社会福祉会館	豊中市の障害者福祉についての懇談	職員2名
10月18 日	日中活動事業者連絡会	障害者センターひまわり	日中活動事業所間の情報交換と交流	職員1名
10月18 日	市民後見人実習打ち合わせ	第2工房「羅針盤」	後見人実習についての打ち合わせ	職員1名
10月19 日	加〇城様 担当者会議	ご自宅	ご本人の今後や体調について	職員1名
10月19 日	高次脳機能障害作業部会	坂本診療所	豊能圏域における高次脳支援について	職員1名
11月1日	大〇様 担当者会議	ご自宅	退院後の生活について	職員1名
11月30 日	玉〇様 担当者会議	ご自宅	ご本人の生活について	職員1名
12月6日	武〇様 ケースカンファレンス	豊中市立市民病院	退院の時期や今後の生活について	職員1名
12月7日	高次脳ワーキンググループ	大阪府自立支援センター	来年度の事業について	職員1名
12/15 (金)	豊中市施策推進協議会	豊中市役所 第一庁舎大会議室	第5次障害者計画素案の検討	職員1名
その他 定例会議				
週1回(水曜)		事業所 終礼	討議提案・過果の確認・各委員会の報告事項等	全職員
2か月に1回(月初めの月曜)		法人 全体職員会議	全体職員交流・共有・情勢の確認、グループワーク	全職員
2週間に一回		管理者会議	情勢・各事業所の運営の報告・共有	管理者
随時	中長期検討委員会 機関紙編集委員会 暮らしの場検討委員会 啓発活動委員会 研修委員会 年末お楽しみ会 権利擁護委員会 災害対策委員会 その他	法人内施設	各事業所の担当者が集まり 各委員会の企画、実施等の話し合い	各事業所の 担当者

平成29年度 第2工房「羅針盤」利用状況

生介I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者
定員	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18		
区分2													0	0.000
区分3	16	15	17	16	17	16	21	20	19	19	17	21	214	0.877
区分4	50	52	54	52	52	27	44	44	51	29	43	45	543	2.225
区分5	189	190	216	196	185	155	155	155	152	147	164	198	2,102	8.615
区分6	121	119	119	107	118	113	117	107	104	103	97	108	1,333	5.463
合計	376	376	406	371	372	311	337	326	326	298	321	372	4,192	17.180
区分5・6(%)	82.4	82.2	82.5	81.7	81.5	86.2	80.7	80.4	78.5	83.9	81.3	82.3		
利用率(%)	104.4	104.4	102.5	103.1	93.9	86.4	89.2	90.6	90.6	87.1	93.9	98.4		

就B I	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均利用者
定員	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18		
未判定	189	179	202	196	203	175	158	168	174	162	172	199	2,177	8.922
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
区分2	41	54	60	69	71	66	67	70	62	55	61	59	735	3.012
区分3	47	40	57	36	42	36	48	51	51	49	52	63	572	2.344
区分4	82	78	69	75	79	80	85	81	85	63	69	72	918	3.762
区分5	0	0	0	3	1	0	0	0	0	13	12	16	45	0.184
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000
合計	359	351	388	379	396	357	358	370	372	342	366	409	4,447	18.225
利用率(%)	99.7	97.5	98.0	105.3	100.0	99.2	94.7	102.8	103.3	100.0	107.0	108.2		
開所日	4月 20	5月 20	6月 22	7月 20	8月 22	9月 20	10月 21	11月 20	12月 20	1月 19	2月 19	3月 21	合計 244	

2017（平成29）年度 社会福祉法人豊中きらら福祉会 各事業所 事業報告書

種別 障害福祉サービス【生活介護型（定員12人）】
 実施施設 名称 クレヨン
 所在地 〒561-0832 豊中庄内西町2-3-5

実施期間 2017（平成29）年4月1日～2018（平成30）年3月31日 開所日数 243 日

	管理者	管理責任者 サービス	生活 支援員	就労 支援員	看護 職員	栄養 士	調理 員	事務 職員	運 転手	機 能 訓 練 ・ マ ッ サ ー ジ	嘱 託 医	顧 問 弁 護 士	顧 問 社 労 士	業 務 委 託 税 理 士	換 算 人 数 計 （ 常 勤）										
																正規	非正規	ボラン ティア等 （内障害 者雇用）	計						
従業者	1	1(兼)	3												3										
					1						1				0										
															0										
															0										
	計	1	1(兼)	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.0									
職員入退職状況					新規採用者					1 名		退職者					1 名								
利用者					うち重複			認 定 区 分	6	5	4	3	2	1	未 判 定	計									
					身・知	知・精	精・身																		
	男		6	1	7	1	1												5	2					7
	女		3	1	4														1		2	1			4
	計	0	9	2	11	1	1										0	0	6	2	2	1	0	0	11
平均年齢		44.0 才																							
授産活動報告	授産内容				利用者数 (人)	職員数(人)	売上額(円)	利用者1人当 たり平均工賃 /月(円)	受注開始年月日																
	内職作業（タオル等）				11	3	104,348	2,500	平成28年1月																
	内職作業（クーポン貼り）						37,590		平成29年9月																
	リサイクル事業（廃品/アルミ缶回収）						175,284		平成28年1月																
	その他事業（沖縄物産等）						106,900																		
					計	424,122																			
年間行事	4月	入所式、避難訓練〔火災〕																							
	5月																								
	6月	避難訓練〔地震〕																							
	7月	健康診断、避難訓練〔火災〕																							
	8月	避難訓練〔火災〕																							
	9月	避難訓練〔浸水〕																							
	10月	なかまの交流会・避難訓練〔火災〕																							
	11月	庄内バル〔休日開所〕、インフルエンザ予防接種、遠足、避難訓練〔地震〕																							
	12月	家族交流会、大掃除、年末お楽しみ会																							
	1月	初詣、書初め																							
	2月	豆まき、避難訓練〔火災〕											毎月1回												
	3月	避難訓練〔地震/浸水〕											音楽教室〔青年教室〕												

クレヨン

①【実践】

<生活>

・定期的にクレヨンで話し合いの場を作り、それぞれの気持ちを知ることができ、何が必要かが少しずつ見えてきたが、原因の根本が解決したわけではない。
・将来の生活に向けて前向きに考えていけるように、定期的な話し合いや情報共有をしながら、他機関と連携をしていく必要がある。

・時間を決め場所を考えて話すことで、利用者がポイントを絞って話すことはできたが、他の利用者がその内容等を気にしてしまうことがあった。
・課題が明確となっている利用者に対しては、職員間で対応を統一することで、利用者の混乱を防ぐことができた。

・職員体制が整ってからは、作業中にそれぞれの机に職員が入ることで、大きなトラブルを防ぐことができた。
・職員が状況を把握していなかったことで、対応が遅れてしまうことがあったので、職員間で声をかけ合って小さな変化等を見逃さないようにしていかなければならない。

・些細なことでも声をかけ合うようにしていたが、職員が増えたことや慣れてきたことで疎かにしてしまった時がある。
・職員体制を理由に、利用者負担や不満を感じさせないよう作業や活動の工夫をしてきた。

<労働>

・5月から当番制にしたことで、作業や当番の確認がしやすくなり、利用者間で準備や片付けを協力することが増えた。
・その時の調子で当番を変更しているが、視覚的に確認できるようにホワイトボードも活用しながら、朝礼で全体に伝えることで不満等は減った。

・大きな事故はなかったが噴き等があったので、終礼等で注意点を利用者にも伝えていくことで、車や自転車を意識しながら作業ができるようになった。
・急な対応が難しい利用者は、安全に作業できるように職員から声かけ等をしてきた。

・昨年度の3月から新規の内職を始めたが、利用者の負担が増えたのと、職員体制が確保できなかったため、継続することができなかった。
・地域のイベントでチラシを配布したことで地域の方から声をかけていただき、回収先を増やすことができた。
・内職の新規開拓が進まない中で、他の事業所に相談をして9月から内職を分けてもらえたり、回収している物をもらえたりするようになった。
・内職が増えたことで、利用者も楽しそうに作業をしている。
・まだ安定した収入を得れているとは言えないので、今年度はできていなかった内職の新規開拓と自主製剤の商品化を進めていく必要がある。

・作業によって職員の配置に偏りや作業の進め方が共通していないことで、利用者が困惑したことがあったので、作業工程や進め方等を職員間でしっかりと共有していかなければならない。
・毎月の収入を踏まえて、収入目標等の話し合いができていないので、12月に作成したデータをもとに検討していく。

<環境>

・押し入れの整理や棚の処分と配置換えをしたことで、以前より作業室を広く使うことができ、作業空間や休憩ができる場所を確保して、利用者の負担を軽減することができた。
・利用者がしんどい時にゆっくりできる環境はなかったが、部屋や席の移動等で対応してきた。
・狭い空間のため、利用者同士でお互いの言動や行動が目につきやすく、調子を崩してしまう利用者がいたため、事前に座席の配置や部屋を変える等して対応してきた。

・職員間で声かけや見守りをしてきたが、ひやりとする場面は何度かあり、その都度検討して改善をしてきた。
・物理的にトイレを増やすことができないので、移転までの間は職員間で声をかけ合いながら注意して見ていく。

階段が急で転倒等のリスクがあることを踏まえて、全体に『昇降前には声をかけて下さい』と伝えていたが、声をかけずに昇降することがあり、ひやりする場面が何度かあった。

移転して環境や利用者集団等が変わってしまうことを不安に思う利用者がいたため、話を聞きながら少しでも不安を軽減できるようにして、いつでも話ができるようにしてきた。

<健康管理>

・クレヨンで薬を管理している利用者は、職員間で声をかけあうことで職員の意識の向上にもつながり、服薬漏れがなくなった。
・薬を自己管理している利用者は、服薬後の確認をしてきた中で、薬を忘れていたり落としていたりすることがあったので、自己管理したいという気持ちを大切にしながら、薬の管理や飲んだ後の確認等について話し合っていく必要がある。

- ・1名の利用者は、入院をきっかけにADLが低下し、病院内での転倒や体調の悪化により退院の目処が立っておらず、医療的な支援が必要なことからホームでの生活も難しくなり、高齢者の施設に入所することになった。
- ・高齢化に対する具体的な取り組みができていなかった。
- ・散歩や外での作業以外にも、室内でできることを検討していく必要がある。

- ・掃除の際には、アルコールだけでなく塩素系で拭くことで、感染のリスクを下げることができた。
- ・必要な物品は揃っているが、使い方を確認できていないので、嘔吐物の処理等の訓練をして意識を高めていく必要がある。

②【権利擁護】

- ・前年度と同じようなひやりがいくつもあったので、改善策やそれがどういった事故に繋がってしまうか等も含めて分析をして、職員間で情報共有をする必要がある。
- ・一覧表の作成は継続していくが、過去との比較や分析等がしやすいものを検討していく。

大きな事故は今年度もなかったが、環境の工夫や利用者へ声をかける等してきた中でも、同じ利用者による転倒や軽傷の事故が起こってしまったので、再発防止に向けて検討をし直す必要がある。

1人の利用者については、事業所内で話せるようになったことで持ち帰ってしまうことはなくなったが、別の利用者から職員の勤務態度や対応についての苦情があったので、しっかりと教訓化して新しい職員が入った時にはしっかりと伝えていく。

③【記録】

- ・4月にパソコンを1台導入して、個人日誌をデータ化したことで、日誌の作成時間を短縮することができ、なおかつ振り返りがしやすい書式となった。
- ・時系列が前後していたり、内容が分かりづらかったりすることがあるので、記入の仕方については再検討する必要がある。

振り返りがしやすい形となり、実践や個別支援計画に生かせるようになってきたが、いつ誰が読んでも分かりやすい記録とはなっていないので、来年度はそこをさらに意識して記録していけるように周知徹底していく。

④【人材育成】

- ・年度途中で朝礼と終礼の意義等の再確認や、週1回以上にやりホットの時間を作る中で、少しずつ自分の思いを伝える力をつけることができた。
- ・報連相については、不十分と感じる場面があるので次年度も意識していく。

- ・言語化していくことで、少しずつ自分の中で落とし込んでいくことができていく。
- ・1月から月1回のペースで現場職員が情勢を報告をすることができているので、今後も継続していき社会情勢に敏感になれるようにしていく。

- ・上半期は職員の入れ替わり等があり、なかなか思うようにはいかなかったが、下半期からは体制が整って研修に参加できるようになった。
- ・今後も研修参加や報告の時間を作っていく、職員のスキルアップを図る。

3人目の職員が定着でき、少しずつではあるがどんなことでも聞きやすい集団となってきたので、よりよい職員集団を目指して会議以外で話せる場や時間を確保していく必要がある。

⑤【事業展開】

- ・地域にある不動産屋を訪問していく中で、土地を紹介していただくことができ、今年度半ばに庄内地域で場所(土地)を確保することができた。
- ・新しい場所での事業開始は5月からの予定である(形態は建て貸し)。

- ・7月にアンケートを実施したところ、現段階での異動を希望する利用者は1名であり、迷っている方等には、建物が完成しだい見学をしていただき、その後丁寧に説明をしていくことになっている。
- ・現段階で異動を希望する利用者が1名であるので、職員の異動については話は進んでいない。
- ・クレヨンでは、12月に家族交流会を実施して、参加した家族に説明と移転先に行き、現状を見てもらうことができた。
- ・参加できなかった家族向けには資料の配布等をしており、今のところ移転についての質問等はない状況である。

⑥【地域貢献活動】			
日程	内容	場所	参加者
⑤治安・安全・防災に関する活動			
4/1~3/31	消防防災協力事業所の登録及び公表	クレヨン	
	AEDの設置及び公表		
	こども110番		
8/19~3/31	防災資機材の設置 (豊中市消防局から貸与)		
9/7(木)	消防防災協力事業所合同研修会	豊中市消防局	職員1名
⑥保健・医療・福祉に関する活動			
5/27(土)	利用者の通院同行	さわ病院	職員1名
6/24(土)			
7/22(土)			
8/19(土)			
10/21(土)			
11/18(土)			
12/16(土)			
⑦地域福祉に関する活動			
4/1~3/31	自治会に加入	クレヨン	
7/24(月)	地域福祉ネットワーク会議	庄内公民館	職員1名
3/7(水)			
【販売活動】			
日程	内容	場所	参加者
8/7(日)	民踊のタバ&カーニバル	庄内南小学校	職員2名
10/15(土)	立正佼成会一食地域貢献プロジェクト	立正佼成会豊中教会	職員1名
11/3(木・祝)	庄内バル	グルメシティ 庄内店前	職員3名
【見学・実習の受け入れ】			
日程	見学・実習参加機関	目的	
10/24(火)	豊中市内在住の方(本人・家族)	見学+障害福祉サービス利用に関する説明	
11/6(月)	豊中市内在住の方(本人・家族)	利用に向けての見学(相談支援員からの紹介)	
11/17(金)	豊中市内在住の方(本人)	12月からの利用に向けての体験	
11/22(水)			
11/24(金)			
11/29(水)			

⑦【研修参加記録】

日程	研修名	場所	主催	講師名	参加者
4/19 (水)	戦場取材から見た戦争のリアル	豊中市立文化芸術センター	忘れない！あきらめない！戦争法廃止！豊中市民アクション実行委員会	西谷 文和	職員 3名
4/23 (日)	南スーダン日報問題と経済的徴兵制	たかつガーデン	大阪平和委員会	布施 佑仁	1名
5/9 (火)	治安維持法と共謀罪	エル・おおさか	関西共同行動	内田 博文	職員 1名
5/12 (金)	このままでいいのか介護保険『改定』～問題点とこれからの介護を考える	大阪市 北区民センター	5.12集会実行委員会	服部 万里子	職員 1名
5/13 (土)	自閉症スペクトラムの特性と発達の理解	豊中市立障害福祉センター ひまわり	豊中で発達保障を学ぶ会	宮本 郷子	職員 1名
5/18 (木)	第1回 新人職員研修「職業倫理」	工房モコ	豊中きらら福祉会	施設長	職員 1名
5/19	憲法カフェ 『檻の中のライオン』in とよなか	蛍池公民館	憲法カフェ「檻の中のライオン」を楽しむ会・とよなか	椋 大樹	2名 1名
5/20 (土)	性について考える連続講座「障がいのある人の性と生Ⅰ」	大阪障害者センター	NPO法人大阪障害者センター	千住 真理子	職員 1名
	ともしび園 公開講座 2017 自己肯定感『自分が自分であって大丈夫』	立命館いばらき フューチャープラザ	茨木市立障害者生活支援センター ともしび園	高垣 忠一郎	職員 1名
5/23 (火)	平成29年度 第1回 障がい児者施設課程(テーマ別)研修会「障がいのある方に対する虐待がなぜ起こるのか」	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループ	上田 晴男	職員 1名
5/28 (日)	こころとからだのフシギな関係ーストレスに負けないために	ホテル大阪 ペイタワー	「保険でよい歯科医療を」 大阪連絡会	香山 リカ	職員 1名
6/10 (土)	性について考える連続講座「障がいのある人の性と生Ⅱ」	大阪障害者センター	NPO法人大阪障害者センター	千住 真理子	職員 1名
6/10 (土)	国際社会から見た日本の表現の自由とメディアと「共謀罪」ー国連特別報告者・調査報告を踏まえてー	大阪弁護士会館	大阪弁護士会	藤田 早苗	職員 1名
6/14 (水)	第1回 感染症・食中毒予防対策講習会「食中毒予防対策」	クレオ大阪中央	福祉と人権の研修ネットワークおおさか	森野 静香	職員 1名
6/17 (土)	大阪府の障がい福祉施策の現状	大阪府障がい者社会参加促進センター	大阪障害フォーラム(ODF)	武矢 幸信	職員 1名
6/25 (日)	「戦争の危機の時代」を問う～「世界統治構造」の破綻と安倍政権～	大阪市中央会館	6・25西谷修講演会実行委員会	西谷 修	職員 1名
6/30 (金)	第1回 職員全体研修「障害者の地域生活～グループホームの必要性について～」	豊中市立障害福祉センター ひまわり	豊中きらら福祉会	三田 優子	全員
7/1 (土)	自閉症スペクトラムの特性と発達の理解	豊中市立障害福祉センターひまわり	豊中で発達保障を学ぶ会	宮本 郷子	職員 1名
7/8 (土)	性について考える連続講座「障がいのある人の性と生Ⅲ」	大阪障害者センター	NPO法人大阪障害者センター	千住 真理子	職員 1名
7/15 (土)	ともしび園 公開講座 2017 発達保障『発達～誰もが生まれてきてよかったと思えるように～』	茨木福祉文化会館	茨木市立障害者生活支援センター ともしび園	近藤 直子	職員 1名
7/17 (月)	『本当は怖い自民党改憲草案』出版記念講演会	神戸女学院大学	安全保障関連法案に反対する関西圏大学・有志の会	石川 康宏 弘川 欣絵 etc	職員 1名
7/21 (金)	ここが危険！改正介護保険法「自立支援」「卒業」を競わされる自治体のこれからを考える	大阪府保険医協会 M&Dホール	大阪社会保障推進協議会	日下部 雅喜	職員 1名
7/26 (水)	テロ等準備罪？共謀罪って何やねん～監視社会はいいや～	大阪府障がい者社会参加促進センター	憲法9条・25条を守る大阪の障害者・府民の会	弘川 欣絵	職員 2名
7/29 (土)	すべての人に生きる権利！～バッシング社会を乗り越える～	大阪弁護士会館	大阪弁護士会、大阪精神保健福祉士協会、大阪医療ソーシャルワーカー協会、大阪社会福祉士会	藤井 克徳	職員 2名
8/9 (水)	貧困問題連続市民講座 こんな社会に誰がした？国民総「最底辺」社会	大阪弁護士会館	大阪弁護士会	藤田 孝典	職員 1名
8/17 (木)	第4回 新人職員研修「個別支援計画の考え方と作成」	クレヨン	豊中きらら福祉会	管理者 施設長	職員 1名
8/29 (火)	強行されたが、本当にこれでいいの？テロ等準備罪 共謀罪の真意に迫る	大阪障害者センター	共謀罪に反対する福祉・教育関係者実行委員会	遠地 靖志	職員 1名
9/2 (土)	自我について	豊中市立障害福祉センター ひまわり	豊中で発達保障を学ぶ会	—	職員 1名

9/2(土) ～ 3(日)	2017年度 NPO大阪障害者センター 管理者セミナー 社会保障制度改革で 変容する福祉事業への対抗軸を考える ～激動の情勢に対応する社会福祉事業 の今後のあり方とは！～	堺市総合福祉会館	NPO法人大阪障害者センター 講師名：岡崎 祐司 平野 方紹 佐藤 久夫 峰島 厚 中内 福成	植田 章 木全 和巳 鈴木 勉	職員 1名
9/7 (木)	消防防災協力事業所合同研修会	豊中市消防局	豊中市消防局	消防署職員	職員 1名
9/8 (金)	大阪福祉事業財団 2017公開学習会 取り戻せ、国民のための医療と福祉～ 医療・福祉の崩壊、憲法改悪のピンチ をチャンスに～	ドーンセンター	大阪府社会福祉事業財団	本田 宏	職員 1名
9/21 (木)	第5回 新人職員研修「障害者の歴史」	第2工房「羅針盤」	豊中きらら福祉会	施設長	1名
	人権文化のまちづくり講座 障害があっても 排除されない社会づくり～相模原障害者 施設殺傷事件から見えてくるもの～	豊中人権まち づくりセンター	豊中人権まちづくりセンター	倉本 智明	職員 2名
9/25 (月)	ヘルパーの生活援助を守ろう！学習会 狙われる「生活援助」切捨て	大阪府保険医 協会M&Dホール	大阪社会保障推進協議会	日下部 雅喜	職員 1名
9/27 (水)	福祉人材における動向と課題～福祉就 職・採用事情の最前線～	あべのハルカス	福祉人材問題検討会	鴻上 圭太	職員 1名
9/29 (金)	第2回 職員全体研修「不適切な支援と 虐待防止」	豊中市立障害福祉 センター ひまわり	豊中きらら福祉会	久岡 英樹	職員 3名
9/30 (土)	社会保障レポリューション-いのちの 砦・社会保障裁判-「さあ、社会保障 裁判で世直しを！」集会	あすてっぴ KOBE	「社会保障レポリューション-いのち の砦・社会保障裁判」出版記念実行 委員会	井上 英夫 藤原 精吾 各裁判原告	職員 1名
10/3 (火)	カジノより福祉に！学習会「大阪府 財政の現状、府民のための財政と は、」	大阪府保険医協会 M&Dホール	福祉医療の拡充を求め大阪実行委 員会	高山 新	職員 2名
10/17 (火)	結核講演会「結核について知ろ う！」	豊中市立労働会館	豊中市保健所 保健予防課	保健所職員	職員 1名
10/19 (木)	第6回 新人職員研修「社会保障論」	きらら作業所	豊中きらら福祉会	施設長 管理者	職員 1名
10/20 (金)	第3回 職員全体研修「我が事・丸ご とと今後の福祉事業を探る」	豊中市立障害福祉 センター ひまわり	豊中きらら福祉会	西村 直	職員 4名
10/23 (月)	『会議の進め方について』～限られ た時間の中でのもまとめ方を学ぶ～	豊中市立福祉会館	豊中市、豊中市社会福祉施設連絡会	森際 孝司	職員 1名
10/28 (土)	「私たちの憲法生活」	リバティホール	あすわか大阪・大阪人権博物館	雨宮 処凛 鈴木 英生	2名
11/1 (水)	津久井やまゆり園の教訓から学ぶ	大阪市立社会 福祉センター	生活の場を考える大阪こんだん会 大阪障害児・者を守る会	大月 和真	職員 1名
11/10 (金)	第2回 感染予防対策講習会「冬季の 感染症対策」	豊中市立文化 芸術センター	福祉と人権の研修ネットワークおお さか	水谷 哲 寺地 つね子	職員 1名
	医療的ケア支援スキル普及事業『豊中市内 の重症心身障害者(児)の現状』	豊中市立障害福祉 センター ひまわり	株式会社オールケアライフ 豊中市 立たちばな園	谷口 あずさ	職員 1名
11/11 (土)	福祉と医療との連携のための基礎講座「高 齢化に伴って配慮すべき支援③～二次障害 の理解と支援～」	大阪障害者 センター	NPO法人大阪障害者センター	鴻上 圭太	職員 1名
	檻の中のライオン	リバティおおさか	あすわか大阪・大阪人権博物館	椋 大樹	1名
11/12 (日)	『写真で伝える世界、東北一紛争 地、被災地からの声～』	国労大阪会館	障害福祉現場で働く職員の全国交流 集会実行委員会	安田 菜津紀	職員 1名
11/13 (月)	軽度知的障害のある人への暮らしの 支援	国労大阪会館	全障研大阪支部 青年成人基部会	白石 恵理子	職員 1名
11/14 (火)	平成29年度 リスクマネジメントに関 する研修会～福祉サービスの質の向上 とリスクマネジメントの取組み～	大阪府 社会福祉会館	福祉と人権の研修ネットワークおお さか	久岡 英樹	職員 1名
11/24 (金)	高齢期における「意思決定支援」の 本質とその実践について	大阪障害者 センター	おおさか福祉施設ネットワークボボ ロ	鴻上 圭太	職員 1名
	第4回 職員全体研修「大阪大空襲の 体験と今後の平和について」	豊中市立障害福祉 センター ひまわり	豊中きらら福祉会	久保 三也子	職員 2名
11/25 (土)	子どもから学ぶということ	豊中市立障害福祉 センター ひまわり	豊中で発達保障を学ぶ会	—	職員 1名
11/26 (日)	自閉症スペクトラム障害の子どもへ の理解と支援	天王寺区民 センター	全障研大阪支部・大阪発達支援セン ターばぼろ	楠 凡之	職員 1名

11/30 (木)	平成29年度 障がい者虐待防止・権利擁護研修(講義)	ビッグ・アイ	大阪府福祉部障がい福祉室 その他講師名:東野 弓子 谷口 泰司	津田 耕一 青木 佳史	職員 1名
12/2 (土)	福祉と医療との連携のための基礎講座 「高齢期の生活支援をICFを使ってアセスメントすることの意義」	大阪障害者センター	NPO法人大阪障害者センター	鴻上 圭太	職員 1名
12/6 (水)	社会福祉施設における地域貢献事業	アクア文化ホール	豊中市社会福祉施設連絡会	牧里 毎治	職員 1名
12/8 (金)	医療的ケア支援スキル普及事業『支援者としての心構え』	豊中市立障害福祉センター ひまわり	株式会社オールケアライフ 豊中市 立たちばな園		職員 1名
12/10 (日)	災害ソーシャルワークから社会的排除を考える～福祉専門教育のネクスト～	佛教大学常照ホール	佛教大学福祉教育開発センター	泉 洋一 後藤 至功 岡崎 祐司	職員 1名
12/13 (水)	総選挙後の改憲をめぐる情勢とたたか いの展望	エルシアター	九条の会・おおさか	渡辺 治	職員 1名
12/14 (木)	きょうされん大阪支部 第41次国会請 願署名・募金運動学習会「署名をも って仲間と一緒に地域に入ろう」	大阪社会福祉指導 センター	きょうされん大阪支部	坂下 共	職員 1名
12/17 (日)	障害者権利条約を学ぶ	立命館大学朱雀 キャンパス	きょうさん第41回全国大会in京都 実行委員会	藤井 克徳	職員 1名
1/12 (金)	医療的ケア支援スキル普及事業『喀痰 吸引等研修の制度について』	豊中市立障害福祉 センター ひまわり	株式会社オールケアライフ 豊中市 立たちばな園		職員 1名
1/13(土)	憲法9条の規範力	大阪弁護士会館	大阪弁護士会	石川 健治	1名
1/14 (日)	強まるメディア統制 乗り越えるには ...	龍谷大学 アバン ティ響都ホール	藤田早苗さん・望月衣壺子さんパネ ル討論会&講演会実行委員会	藤田 早苗 望月 衣壺子	職員 1名
1/19 (金)	第1回機関研修会「改めて考える知的 障がいー合理的配慮や意思決定支援を 軸にしてー」	大阪府立急性期・総合 医療センター	大阪府障がい者自立相談支援セン ター	小尾 隆一	職員 1名
1/20 (土)	ひとりよりふたりがいいねー支援学 級の授業ー	豊中市立障害福祉 センター ひまわり	豊中で発達保障を学ぶ会	藤木 桂子	職員 1名
1/21 (日)	憲法カフェ(自衛隊「加憲」・国民 投票問題)	吹田市立子育て青少年 拠点夢つながり未来館	平和なまちづくり 吹田ネットワ ーク	安原 邦博	職員 1名
1/24 (水)	意思決定支援とは何か	大阪障害者センター	NPO法人大阪障害者センター	久岡 英樹	1名
1/25 (木)	2018年生活扶助基準引き下げの内 容と問題点	エルおおさか	反貧困ネットワーク大阪、引き上げアカン!大 阪の会、シンママ大阪応援団	吉永 純	職員 1名
1/28 (日)	憲法を基底にした福祉事業、福祉労 働の再生をめざして	大阪社会福祉指導 センター	憲法9条・25条を守る大阪の障害者・府 民の会、福祉人材問題検討会	二宮 厚美	職員 1名
2/10 (土)	安倍改憲提案と憲法九条 核兵器禁止条約と市民がつくる平和 ～その意義と課題を考える～	生活情報センター くらし館	豊中革新懇	藤木 邦顕	1名
2/16 (金)	障害者を取り巻く情勢と第41次国会 請願署名・募金運動	ドーンセンター	東日本大震災避難者の会 Thanks&Dream(サンドリ)	川崎 哲	職員 1名
2/17 (土)	なんで戦争止められへんかったん?～ 戦争の始まり方を学び、今に活かす～	クレヨン	きょうされん大阪支部	雨田 信幸	全員
2/20 (火)	『国民投票法』の問題点と対抗策	リバティおおさか	あすわか大阪・大阪人権博物館	大前 治 安野 輝子	職員 1名
2/22 (木)	『国民投票法』の問題点と対抗策	ドーンセンター	リスペクトの政治をつくる大阪弁護 士の有志の会	杉島 幸生	職員 1名
2/24 (土)	発達障害の気づきと支援のありかた について～当事者として親として～	すこやかプラザ	豊中市 豊中市障害者啓発活動委員会	元村 祐子	職員 1名
2/27 (火)	第7回きょうされん大阪支部実践交流 研修会/全体会『よりよく生きる～いの ちの価値は～』+分科会	日本研修センター	きょうされん大阪支部	青木 道忠 など	全員
2/27 (火)	食品衛生責任者養成講習会	大阪府 社会福祉会館	公益社団法人 大阪食品衛生協会	—	職員 1名
3/1(木)	平成29年度社会福祉施設職員の地域福祉実 践力向上研修『福祉施設における“場”づ くり』	大阪府 社会福祉会館	大阪府社会福祉協議会	南 多恵子 木下 星集 牧野 郁	職員 1名
3/6(火)	ファイナダーから見た世界 貧困・難民・ 紛争 子どもたちの笑顔が教えてくれるもの	ドーンセンター	国際女性デー大阪集会実行委員会	安田 菜津紀	職員 1名
3/9(金)	2017年度 きょうされん大阪支部 北 摂ブロック研修『憲法ってなあに?』	茨木市立 福祉文化会館	きょうされん大阪支部 北摂ブロ ック	小谷 成美	全員

⑧【会議参加記録】

日程	会議名	場所	内容(目的)	参加者
4/25 7/6 8/3	第40次国会請願署名 担当者会議	工房モコ	各事業所の署名数の報告etc	1名
4/24 6/26 10/23 12/25	きょうされん北摂ブロック代表者会議	茨木市 クリエイト センター	情勢や課題の報告 各行政区の動きetc	1名
7/7	北摂なかまの交流会 事務局会議	茨木市立南体育館	会場下見・各担当の 進捗状況etc	1名
8/2 9/4	北摂なかまの交流会 事務局会議	ともしび園	出し物や担当の進捗状況etc	1名
9/8	きょうされん大阪支部代表者会議	大阪社会福祉指導 センター	最新の施策動向 グループワークetc	1名
10/25	ケース会議	クレヨン	利用者・家族についての ニーズ整理	全員
11/9	北摂なかまの交流会 事務局会議	ともしび園	総括についてetc	1名
11/17 1/26	ひだまりの家担当者会議	ひだまりの家	夜勤体制・入居者の 情報共有 etc	1名
12/7 1/25	第41次国会請願署名 担当者会議	ワークセンター とよなか	前回の総括確認 担当や目標を決めるetc	1名
1か月 1回	なかまの店運営委員会	すこやかプラザ	運営状況の報告 当番決めetc	1名
その他 定例会議				
週1回 水曜	クレヨン職員会議	クレヨン	討議提案・週果の確認・各委 員会の報告事項等	全職員
毎日	朝礼/終礼	クレヨン		全職員
2週間 に一回	管理者会議		情勢・各会議、各事業所の報 告・研修についてetc	各事業 所の管 理者
2ヶ月に 1回 (月曜)	職員全体会議(法人)	ひまわり センター	全体職員交流・共有・情勢の確認 グループワーク	全職員
随時	中長期検討委員会 機関紙編集委員会 暮らしの場検討委員会 啓発活動委員会 研修委員会 年末お楽しみ会 権利擁護委員会 災害対策委員会 その他	法人内施設	メンタルヘルス・人事交流等々 機関紙発行、編集会議等 新設のグループホームの進捗状況 etc 地域交流、啓発等 研修計画等 参加人数や当日の動きの最終確認 etc 事例検討・各事業所の報告、意思 決定支援・危険予測シミュレーショ ンetc マニュアル作り・防災教育etc	各事業 所の担 当者

平成29年度 クレヨン利用状況

生活介護	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		平均利用者		
	12	17	12	14	12	17	12	19	12	17	12	18	12	19	12	17	12	18	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
生介I 定員	12	17	12	14	12	17	12	19	12	17	12	18	12	19	12	17	12	18	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
区分2	17	32	17	33	17	43	19	36	17	30	18	28	19	30	17	42	18	35	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
区分3	32	67	30	71	30	74	36	67	30	52	28	54	30	57	42	41	35	40	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
区分4	67	53	52	51	52	60	55	65	52	65	54	51	67	51	70	41	40	40	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38
区分5	53	0	65	0	60	0	55	0	65	51	51	51	55	51	70	74	74	74	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66
区分6	0	169	0	169	0	194	0	177	0	164	0	151	0	157	0	170	0	167	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	169	31.4	164	30.2	194	30.9	177	31.1	164	39.6	151	33.8	157	32.5	170	41.2	167	44.3	154	42.9	154	160	160	176	2,008	2,008	2,008	2,008	2,008
区分5・6(%)	31.4	70.4	39.6	70.4	30.9	73.5	31.1	73.8	39.6	68.3	33.8	62.9	32.5	62.3	41.2	67.5	44.3	69.6	42.9	67.5	42.9	41.9	41.9	43.2	36.8	36.8	36.8	36.8	36.8
利用率(%)	70.4	70.4	68.3	70.4	73.5	73.5	73.8	73.8	68.3	68.3	62.9	62.9	62.3	62.3	67.5	67.5	69.6	69.6	67.5	67.5	67.5	70.2	70.2	69.8	68.9	68.9	68.9	68.9	68.9

開所日	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	20	20	20	20	22	22	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21	20	20	19	19	19	19	21	21	21	243

ソレイユ

①【実践】

<生活>

今年度の利用者数は15名（当法人内12名、法人外3名）に対し、ヘルパーは11名（男性7名、女性4名）の体制で支援を実施してきた。利用者によっては、特定のヘルパーを指名するケースもありますが、基本的にはヘルパーによって支援、介助方法等に相違がないよう、定期的な研修を実施している。

<環境>

介護者の高齢化によりグループホームへ転居した利用者や、昨年度より続く近隣住民からの苦情により転居を余儀なくされたケースなど、利用者の生活環境も大きく変わろうとしている。このような状況に対応するため、今年度は朝6時から夜8時までの支援をおこなっています。

<健康管理>

移動支援中に利用者の体調不良により、予定の支援時間を繰り上げたケースが2件あった。主に夏場に発生しているため、外出時には体調チェックと適度な水分補給など、引き続き熱中症対策を講じていく。尚、2名のヘルパーが数か月間勤務できない状況が続いている。

②【権利擁護】

ひやりはっと報告書が20件あり、主な内容として、歩行中での自転車との接触未遂、転倒未遂、エレベーターの扉に挟まるなどの事象が発生しました。事故報告書は0件です。尚、記録者は偏ることなく、事象が発生したら直ちに報告が上がるよう、連絡を緊密にし、報告書の内容については、その都度、書面によりヘルパー全員に周知している。

ヘルパーの体調不良により、利用者の支援要望に応えられないことが目立った。同性介護の観点から、特に女性ヘルパーの欠員があったため、勤務調整に課題が残る。

③【記録】

支援時には、支援活動報告書、実績記録票、サービス実施時間報告書等を作成し、支援状況がわかりやすいように記入してきたが、ヘルパーより支援中の過度な記録行為は事故を招きかねないなどの指摘があったため、現在2人支援体制を必要としている重度訪問介護については、試験的に市販されている簡易な様式に変更した。しかし、4月の実地指導の際、簡易すぎる記録用紙は支援の実態が把握できないとの助言があり、課題が残った。

居宅内の支援以外では金銭などの貴重品を預かることが多いため、管理方法や金銭預かり票の記載漏れなどに十分配慮することが求められている。また、支援中に使途した内容がわかるよう、領収書やレシートなどを必ず添付している。

④【人材育成】

今年度も7月と1月の計2回、大阪府集団指導の解説をはじめ、熱中症への注意喚起、障害者虐待などの人権研修を実施した。研修は学習の機会だけではなく、日頃会う機会が少ないヘルパー同士の情報交換の場であると同時に、支援の統一、整合性を図るための貴重な交流の場となっている。

他事業所との掛け持ち勤務や勤務日などにより、外部研修の参加や新たな資格取得（特に同行援護関係）が困難なため、引き続き研修の機会を広げるとともに、参加可能な曜日や時間帯の調整に課題が残る。

月1回のヘルパー面談では、個別相談や業務内容などを聞き取り、業務の孤立化やマンネリ化を招かないよう実施している。尚、ヘルパーの在職年数は、7割が5年以上10年未満、残り3割が3年以上5年未満であり、比較的離職率は低い。今後ともヘルパーが働きやすい環境を整備していく。

⑤【事業展開】

現在、サービス提供責任者の配置基準規定に基づき、1人のみの配置である。従業者数は10人以上かつ月間のサービス提供時間は450時間以上に達しているが、利用者数が40名以下のため、2人以上の配置は困難である。尚、今年度月刊利用平均時間は約720時間である。

今後、利用者の多様な要望に応じていき、事業展開していくうえで、ヘルパー不足が慢性的な課題となっている。現状では女性ヘルパーの増員が急務であるが、中長期的には男女合わせて10名以上のヘルパー増員が必要であり、その上で新たな利用者の受け入れも可能となり、結果的にサービス提供責任者の増員及びきめ細やかな支援が見通せる。

⑥【地域貢献活動】

日程	内容	場所	参加者
治安・安全・防災に関する活動			
8/18(金)	消防防災協力事業所資機材の設置	ソレイユ	
保健・医療・福祉に関する活動			
9月～2月	大阪保健医療大学後期授業	大阪保健医療大学	管理者
9/3(日)	高次脳機能障害講演会	大阪YMCA会館	管理者
10/1(日)	東京高次脳機能障害講演会	浜離宮朝日ホール	管理者
10/14(土)	高次脳機能障害交通事故弁護士講演会	大阪YMCA会館	管理者

⑦【研修参加記録】

日程	研修名	場所	主催	講師名	参加者
5/26(金)	指定事業者・施設 集団指導	アクア文化ホール	大阪府福祉部 障害福祉室	各関係部局	1名
6/23(金)	同行援護サ責研修	大阪第3ビル	株式会社ワークス	浜田 幸彦ほか	1名
6/30(金)	同行援護サ責研修	大阪第3ビル	株式会社ワークス	浜田 幸彦ほか	1名
9/3(日)	高次脳機能 障害講演会	大阪YMCA会館	朝日新聞厚生 文化事業団	橋本圭司ほか	1名

⑧【会議参加記録】

日程	会議名	場所	目的	参加者
4/13(木)	ケース検討会議	市立障害福祉 センターひまわり	定例のケース会議	2名
5/12(金)	居宅介護・移動支援事業所連絡会	市立福祉会館	定例会議	1名
5/15(月)	ケース検討会議	市立障害福祉 センターひまわり	定例のケース会議	1名
6/5(金)	ケース検討会議	利用者自宅	定例のケース会議	2名
7/7(金)	ケース検討会議	さわ病院	定例のケース会議	1名
7/28(金)	ケース検討会議	利用者自宅	定例のケース会議	1名
9/4(月)	ケース検討会議	市立障害福祉 センターひまわり	定例のケース会議	1名
9/21(木)	ケース検討会議	利用者自宅	定例のケース会議	1名
10/11(水)	ケース検討会議	利用者自宅	定例のケース会議	1名
10/27(金)	ケース検討会議	利用者自宅	定例のケース会議	2名
11/13(月)	居宅介護・移動支援事業所連絡会	市立福祉会館	定例会議	1名
11/27(月)	ケース検討会議	ソレイユ	定例のケース会議	1名
1/12(金)	ケース検討会議	ソレイユ	定例のケース会議	2名

やすらぎの家・らしんばんの家

①【実践】

<生活>

<介助方法等>

見守り（確認）から全介助まで個々の障害特性を考慮して行う件に関して、1日の流れをホームごとに作成して、職員に配布した。

<家族・他機関連携>

利用者個々の心身状況を把握し、今後ご家族、関係機関と連携しながら必要に応じてしえんをおこない、利用者が安心して過ごせる環境を提供していく。

<環境>

- ・職員に欠勤や欠員が生じた時の、体制確保が必要。
- ・個々の生活がパターン化した状態で促しなどでの食事、入浴が出来ているが、ほほえみ・やすらぎと棟が異なり食事や入浴の際にほほえみからやすらぎに移動をされている。
- ・やすらぎ利用者が1名退居（2018年2月）

<健康管理>

- ・関係機関との連携をしながら定期通院や服薬管理が出来ている。
- ・定期健診や日々の様子観察をおこない利用者の健康状態を把握していく。
- ・加齢に伴う心身状態の変化についても関係機関との連携を取りながら適宜の支援をおこなっていく。個々の様子や支援内容について情報共有出来るように定例会議にて検討をおこなう。
- ・臨時に飲む薬（下剤、頓服）について、職員によって認識の違いがあり、服薬方法をあやまることがあった。

②【権利擁護】

<事故報告書>（らしんばん11件/やすらぎ7件）服薬忘れ・外出先での事故、行方不明・職員の負傷など

<ひやりはっと報告書>（らしんばん5件/やすらぎ3件）利用者間トラブル・利用者の不安定時の様子など

<苦情・相談報告書>（らしんばん4件/やすらぎ2件）利用者（ご家族）からの要望・近隣住民から騒音についての苦情

- ・各種報告書作成に伴ってホーム会議などで対応や解決策、教訓とする事柄をホーム職員で共有し、再発防止に努めていく。

③【記録】

【個別支援計画書】集団生活における生活様式に大きな変化はないものの、心身状態の変化に伴い検討課題も上がっている。

【日誌・サービス提供記録】支援についての記録をその都度、業務日誌（2号様式）に記入している。特記事項で利用者の様子や連絡事項を記入し、情報共有してきた。

- ・利用者個々の生活様式において大きな変化は無いものの様々な要因での変化においては適宜の対応を継続し、利用者が安心して生活が送れるようにしていく。
- ・サービス提供記録、業務日誌の記入について各部署利用者の様子を窺うツールとの認識をして、適切な記入が出来るように努めていく。

④【人材育成】

利用者に対して、不適切な支援になってしまう事がある。定期的に「虐待防止」「支援の視点」「利用者・家族の思い」等のテーマで学習の機会を設ける。定例の職員会議（月1回）での本の読み合わせ。外部講師を招いて研修。

本の読み合わせでは、利用者・家族の思いをみんなで共有した。虐待防止に関しては、豊中市職員に講師に来てもらい研修を行う。

⑤【事業展開】

2018年2月に、女性用のグループホームひだまりの家（GH6名、短期入所②名）を開所。また新千里南町に開設予定のグループホームの工事着工。

2018年2月にスプリンクラー、自動火災通報装置等の消防設備を設置。、

2017年6月に男性専従職員を配置。2018年2月に女性ホーム開設に伴い、女性専従職員を配置。

⑥ 【地域貢献活動】

日程	内容	場所	参加者
雇用に関する活動			
2017年4月	障害者・高齢者(65歳以上)雇用	やすらぎの家 らしんばんの家	
治安・安全・防災に関する活動			
2016年～	子どもの見守り隊旗の掲示	らしんばんの家	
2015年～	AEDの設置、玄関に設置表示	やすらぎの家 らしんばんの家	
保健・医療・福祉に関する活動			
2017年4月	ひとり暮らしの障害者への生活支援(食事提供・入浴等)	やすらぎの家	

⑦ 【研修参加記録】

日程	研修名	場所	主催	講師名	参加者
6/30(金)	障害者の地域生活グループホームの必要性	障害福祉センターひまわり	豊中きらら福祉会 研修委員	三田 優子 氏	3名
7/27(木)	衛生推進者養成講習	大阪コロナホテル	ウェルネット	粟屋 雅志 氏	1名
8/29(火)	障害のある人の暮らしと支える人たちについて	すこやかプラザ	豊中市・豊中市 啓発活動委員会	事業所のスタッフ と当事者	3名
9/12(火)	平成29年度強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	ビッグアイ	大阪府	(社福)北摂杉の子会 勝部氏 など	1名
9/29(金)	全体研修 不適切な支援と虐待防止	障害福祉センターひまわり	豊中きらら福祉会 権利擁護委員	久岡 英樹 氏	3名
10/19(木)	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)演習	大阪市学会館	大阪府	大阪府障害者自立 相談支援センター	1名
10/20(金)	「我がこと・丸ごと」と今後の福祉事業を探る	障害福祉センターひまわり	豊中きらら福祉会 研修委員	西村 直 氏	3名
11/24(金)	全体研修大阪大空襲の体験と今後の平和について	障害福祉センターひまわり	豊中きらら福祉会 研修委員	久保 三也子 氏	3名
11/30(木)	平成29年度障がい者虐待防止・権利擁護研修	ビッグアイ	大阪府	津田 耕一 氏他	1名
12/4(月)	強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	大阪府教育会館 かたつガーデン	大阪府	(社福)なにわの里 藤井氏 など	1名
12/7(木)	「障害者の虐待防止と対応」	らしんばんの家	らしんばんの家	豊中市役所 林 氏	2名
12/11(月)	知的障害者の高齢期の暮らしの支援を考える	大阪国際交流センター	大阪府 社会福祉協議会	植田 章氏 など	2名
12/13(水)	平成29年度強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	大阪府教育会館 かたつガーデン	大阪府	大阪府砂川 厚生福祉センター	1名
1/16(火)	「入居者の思いに寄り添った支援とは？」	障害福祉センターひまわり	豊中市障害者グループ ホーム事業者連絡会	(社福)つながり 妹尾弘宣氏	3名
2/8 2/9	甲種防火管理研修	豊中市北消防署	豊中市消防局	消防職員	1名
2/20(火)	「障害者の虐待防止と対応」	やすらぎの家	やすらぎの家	豊中市役所 林 氏	2名

⑧ 【会議参加記録】

日程	会議名	場所	目的	参加者
2か月 1回	豊中市障害者グループホーム事業者連絡会・役員会	ひまわりセンター	連絡会の打ち合わせ	1名
2か月 1回	きょうされん大阪支部グループホーム部会	大阪障害者センター	全国情勢、府内事業者との情報共有	1名
2か月 1回	豊中市障害者グループホーム事業者連絡会	ひまわりセンター	市内事業者との情報共有	1名
2週間 1回	法人内 管理者会議	第2工房羅針盤	各事業所の情報共有、法人課題の検討	1名
1か月 1回	ホームスタッフ会議	各ホーム	利用者の支援方法の検討、学習	全スタッフ

【利用者の状況】（2018年1月末現在）

やすらぎの家 6名(2018年1月末に1名退去) らしんばんの家 7名

年齢（人）							
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
男		1	2	4	4	2	13
女							0
計	0	1	2	4	4	2	13

障害支援区分（人）							
区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	非該当 未判定	合計(人)
5	6	2					13

身体障害者手帳所持者（人）					
	肢体 不自由	音声・言語 そしゃく機能 障害	視力 障害	内部機能 障害	合計
1級		1		1	2
2級	1				1
3級					0
4級					0
計	1	1	0	1	3

療育手帳所持者（人）			
	男性	女性	合計
A	3		3
B1			0
B2			0
合計	3	0	3

【職員の状況】（2018年1月末現在）

新規採用者： 非常勤 11名

異動：正職 1名

相談支援センターきらら

①【実践】

<一般相談>

豊中市障害者相談支援事業を受託し、地域の相談窓口として相談支援をすすめてきました。当事者・家族・関係機関から、就学・ひきこもり・年金・成年後見制度の利用・生活のおけるトラブルなどあらゆる相談を受けています。多種多様な相談を受け、どこまでが相談員として求められているのか、役割がなかなかわかりにくい現状があります。9つの委託相談支援事業所で担当地区があり、当事者・家族、行政、支援機関等から担当地区在住の方々の相談を受けています。担当地区が明確になり、相談窓口の案内はわかりやすくなり、新規相談が相次いでいます。現行の社会資源や制度に活用できるものがない、あるいは当事者・家族、支援機関で少しずつ思いにズレがあるなど、なかなか解決の糸口が見つからないような長期的な相談も多くあります。

<計画相談支援・障害児相談支援>

福祉サービス利用にあたり、サービス利用状況の聞き取り、必要に応じて変更や調整をすすめていく他、日常生活において緊急時の対応が必要となったことも少なくありません。より良い支援が行うためには、当事者の希望する生活を中心に、支援の方向性を共有できるチームづくりが重要な鍵です。現在、3名の相談支援専門員が計画相談支援（18歳以上）121名、障害児相談支援（18歳未満）6名のケースを受けています。一般相談から福祉サービス利用につながった方から、計画相談支援・障害児相談支援の意向があった場合、委託相談支援事業所として関わっていくべきか、あるいは地域の指定相談支援事業所に関わってもらうべきか、介護サービスの地域包括支援センターとケアマネージャーのように役割の基準もなく、判断しづらい現状があります。

<医療・健康面>

ひとり暮らしで主たる介護者が側にいないケースで病気やけが、精神不安による突発の通院や入院があり、相談員が緊急対応で同行したり、手続き等の支援を行うことがありました。病気やケガ、病状の悪化等で通院や入院が必要となった場合、相談員が同行することがあります。特に、ひとり暮らしで主たる介護者が側にいないケースでは、緊急時の対応はなかなか難し状況があります。

<不安の解消・情緒安定>

将来の不安や一人で過ごす寂しさなどから、電話やメール、来所による相談があります。多くは、相談者の話に耳を傾けていると、明確な解決策はなくても、一定不安が和らぐこともあります。しかし、夜間対応は行っていないため、寂しさから自傷行為に発展してしまったケースもあります。昼夜問わず、一人で過ごしている時間帯は、ちょっとしたことで不安や孤独感が高まってしまうようです。一人暮らしの方で、夜間は特に不安を感じてしまいがちです。必要に応じて、24時間対応が可能な訪問看護との連携も行い、不安の軽減につなげていきます。

<家族関係・人間関係>

家族間では関係性が近いため、それぞれの思いにずれが生じてしまうと、ぎくしゃくした関係となってしまうがちです。改善策が見いだせず、互いがつらい状況に陥ってしまうことがありました。家族やその他人間関係で、一度ぎくしゃくしてしまうと、なかなか当事者間で改善に導くことが難しい状況があります。まずは、それぞれの思いに耳を傾けて、少しでも関係性の改善に導いていけるよう、必要に応じた支援を継続的に行う必要があります。

②【権利擁護】

<ひやりハット,車両事故報告書> ひやりハット3件、車両事故1件

<苦情,相談報告書> 苦情・相談報告書 3件

家族の苦情が多く、こまめな連絡ができていなかったことが原因。苦情の対応については、改めて相談員で話し合う場を設けたり、場合によっては第3者に立ち会ってもらったり、再発防止に努めてきました。引き続き、当事者・家族との信頼関係を構築できるか課題になっております。

<後見人制度,日常生活支援事業>

家族の高齢化や一人暮らし等の後見人制度の相談、又社会福祉協議会の日常生活支援事業（金銭管理）の利用が増加しています。後見人によっては、本人中心の相談がしにくい場合もあります。後見人制度や日常生活支援事業等を利用し、生活環境が整うことで心配ごとが解消されます。引き続き、相談支援専門員のスキルアップが必要になります。

③【記録】

<初回相談受付票>一般相談 49件 朝礼で報告し、初回訪問で2名体制が可能か確認することで負担の軽減を行いました。

<サービス等利用計画> 誕生日月更新の計画 127件 サービス状況の変更に伴う計画 8件を実施。実施時期を把握や翌月のモニタリング実施し、更新手続き忘れの防止をしてきました。

<モニタリング報告書> 当事者の状況に応じて3ヵ月,6ヵ月,1年に1回のモニタリングを実施。担当件数は、一人あたりの件数は30~50件。報告書の作成に追われています。モニタリング聞き取り表の活用により、詳細な利用状況を把握。報告書作成に追われないように工夫が必要になっております。

<日誌> 予定表を日誌に記録。朝礼でホワイトボードを使用。各相談員の予定やケースの共有化を図ることで、相談員同士で相談が可能になっています。引き続き、相談しやすい環境づくりが必要になります。

<相談票> (一般相談・計画相談) 当事者、家族、関係機関等のやりとりを記録。豊中市委託相談事業の業務受託。毎月の相談件数を豊中市に報告のため、業務負担が増加。対応した状況を振り返ることができません。相談者の増加により、相談票の記録の負担が増加しています。

④【人材育成】

<会議> 月1回の会議開催 参加した外部研修、会議の報告、ケースの報告共有
会議の開催は前もって予定をしていますが、急な電話対応や訪問などが入ることもあったので、予定が組みづらいこともありましたが、不定期で行っていたケース会議については、相談員の抱え込み解消と、視野を広げるためにも今後も継続していきたいと思えます。会議の日程が組みづらい時には、朝礼での報告を活かしながら、短い時間でも打ち合わせができるように工夫していきます。

<職員集団>

毎日の朝礼でケースの情報共有をし、相談員がケースを抱え込まないように努めました。
法人内のケースについては、計画相談と一般相談の差が分かりづらく、気軽に相談しづらい声も、現場の職員から上がりました。
相談員同士が相談しやすい環境は情報共有することによって整ってきています。
委託相談事業所としての役割として、相談員が1人体制である指定相談支援事業所への継続的な後方支援をすすめていきます。また、法人内の職員間でも相談しやすいように、今後は、顔の見える関係作りを心掛けていきます。

<外部会議参加>

「豊中市障害者相談支援ネットワーク“えん”」
行政、医療、各専門機関との交流。事例検討。
法律相談に参加しました。(月1回)
引き続き、他機関との連携、学習、課題整理を継続していきます。法律相談も活用しながら、より良い相談支援体制を整えていきます。

「北部エリア会議」

基幹、委託、指定の相談事業所が集まり、事例検討を通して、地域の課題として事業所で抱え込まないようにすすめました。
あがってきた課題についての対応よりも、開催時期などが優先されているため、タイムリーに問題解決に至らないことがありました。会議の在り方、開催のペースについても課題が残っています。

「きょうされん大阪生活支援センター(相談支援部会)」

情勢や制度の報告や仕組みの把握、他市町村の動向把握、研修参加
他事業所の課題にあがっている事例と一緒に考えることで、受け持っているケースとリンクする部分が見えてきたところがあり、参考になりました。今後も、個々の課題を地域の課題としてとらえ、そこから見えてくる制度の仕組みや情勢など幅広くとらえていく視点を持ち、主体的に研修にも参加していきます。

⑤【事業展開】

<相談支援体制>

豊中市域では基幹・委託・指定相談支援事業所の三層構造でワンストップ対応の確立を目指していますが、それぞれの役割の共有や相談支援体制の周知が不十分で周知できていない状況があります。
また、法人内で相談員としての役割・連携を積極的に周知できておらず、同法人ならではの強みが活かしきれませんでした。
地域の身近な相談窓口として担い、さまざまな相談を受け、相談件数は年々増え続けています。
そのために相談支援専門員の拡充も必要ですが、まずは基幹・委託・指定相談支援事業所のそれぞれの役割を明確し、三層構造により相談支援体制が整えられるよう、努めていかなければなりません。
また、法人内外問わず、支援機関と顔の見える関係づくりが重要です。チームでより良い支援が行えるようにすすめていきます。

<豊中市障害者自立支援協議会>

28年度より、地域生活支援部会では具体的な事例をもとに、通学支援の必要性を共有しました。他市訪問や実態調査等をすすめ、社会資源の改善に向けての動きがありました。
また、個々のケースで、主たる介護者であった家族が、病気や加齢に伴い何らかの支援が必要となり、当事者・家族ともに緊急的に生活の見直しが必要となったことが数件ありました。
当事者・家族ともに、これからは地域で安心して暮らしていけるよう、個々の課題を地域の課題として豊中市自立支援協議会等に発信していき、社会資源の改善や施策提案等につなげていけるよう努めていきます。

日程	内容	場所	参加者		
文化・環境に関する活動					
7/22(土)	しんでん夏まつり	新田小学校	1名		
9/16(金)	敬老のつどい	西丘小学校	3名		
10/9(祝)	「体育の日」	青年の家いぶき駐車場	1名		
治安・安全・防災に関する活動					
8/18～	消防防災協力事業所登録・公表(継続)消防防災協力事業所 資機材設置				
地域福祉に関する活動					
12/15(金)	高齢者の徘徊の対応	法人本部～自宅	1名		
⑦【研修参加記録】					
日程	研修名	場所	主催	講師名	参加者
4/13 (木)	メンタルヘルスマネジメント研修	豊中市立福祉会館	豊中市社会福祉施設連絡会	武庫川女子大学 大岡由佳准教授	1名
4/21 (金)	サポートブック研修	青年の家 いぶき	株式会社 徳洋福祉会	かざみどり相談室 宮崎 充弘氏	1名
5/25 (木)	西丘校区 高齢部会	西丘小学校 コミュニティセンター	千里包括支援センター	なし	1名
6/30 (金)	障害者の地域生活グループホームの必要性	障害福祉センター ひまわり	豊中きらら福祉会 研修委員	三田 優子 氏	7名
7/1 (土)	自閉症スペクトラムの特性と発達の理解	障害福祉センター ひまわり	豊中で発達保障を学ぶ会	宮本 郷子 氏	1名
7/11 (火)	放課後活動における子どもと保護者の支援	青年の家 いぶき	株式会社 徳洋福祉会	池添 素 氏	1名
8/25 (金)	福祉現場における個人情報保護のありかたを考える	大阪弁護士会館	大阪弁護士会	なし	1名
9/2 (土)	豊中で発達保障を学ぶ会	障害福祉センター ひまわり	豊中で発達保障を学ぶ会	なし	1名
9/29 (金)	全体研修 不適切な支援と虐待防止	障害福祉センター ひまわり	豊中きらら福祉会 権利擁護委員	久岡 英樹 氏	6名
10/3 (火)	大阪の福祉医療 カジノより福祉に！ 学習交流会	大阪府保険医協会 M&Dホール	福祉医療の拡充を 求める大阪実行委 員会	大阪教育大学 高山 新 先生	1名
10/10 (火)	相談活動で大切に したいこと	大阪府社会福祉会館 505号	大阪生活支援 センター連絡会	横川 豊隆氏 坂本彩氏	2名
10/20 (金)	「我がこと・丸ごと」と 今後の福祉事業を探る	障害福祉センター ひまわり	豊中きらら福祉会 研修委員	西村 直 氏	7名
11/1 (水)	障害児・者の暮らしの場の 在り方を考える 津久井 やまゆり園の教訓から学ぶ	大阪市立社会福祉 センター	生活の場を考える 大阪こんだん会	大月 和真 氏 (津久井やまゆり 園家族会会長)	1名
11/12 (日)	写真で伝える世界 東北一紛争地 被災地からの声	国労大阪会館	障害福祉職場で働く 職員の全国交流集会 実行委員会	安田 菜津紀 氏	1名
11/24 (金)	大阪大空襲の体験と 今後の平和について	障害福祉センター ひまわり	豊中きらら福祉会 研修委員	久保 三也子 氏	5名
12/17 (日)	障害者権利条約の 誕生とその役割	立命館大学朱雀 キャンパス	きょうされん京都 支部	藤井 克徳 氏	1名
1/20 (土)	豊中で発達保障 を学ぶ会	障害福祉センター ひまわり	豊中で発達保障 を学ぶ会	藤木 桂子 氏	1名
1/30 (火)	価値のある人生を 求める相談支援	大阪市中央 区民センター	大阪生活支援セン ター連絡会	山本 耕平 氏	1名

【会議参加記録】

日程	会議名	場所	目的	参加者
2週間 1回	豊中市障害者自立支援協議会 事務局会議	豊中市立障害福祉 センターひまわり	事務局会議	1名
2か月 1回	運営委員会	穂積センター	各事業所・親の会報告等	2名
4/10 (月)	豊中市障害者自立支援協議会 地域生活支援部会	自立支援センター	地域生活支援部会 会議	1名
1か月 1回	きょうされん 北摂ブロック	茨木クリエイト センター	北摂ブロック 定例会議	1名
1か月 1回	豊中市障害相談支援 ネットワーク えん	豊中市立障害福祉 センターひまわり	定例会議	2名
2か月 1回	豊中市障害者自立支援協議会 運営会議	豊中市立障害福祉 センターひまわり	運営会議	1名
1か月 1回	豊中市障害者自立支援協議会 地域生活支援部会	自立支援センター	地域生活支援部会 定例会議	1名
2か月 1回	障害者の豊かな生活すすめる会 事務局会議	工房モコ	定例会議	1名
2か月 1回	きょうされん 大阪生活支援センター連絡会	大阪障害者センター	連絡会 定例会議	1名
3か月 1回	豊中市障害者自立支援協議会 全体会議	豊中市立障害福祉 センターひまわり	全体会議	1名
6/1 (木)	豊中市障害者自立支援協議会 地域生活支援部会	枚方市役所	枚方市と自立支援 協議会の交流	1名
6/7 9/6 1/29	豊中市障害者自立支援協議会 地域生活支援部会	箕面東高校	学校とのカンファレンス	1名
7/6 (木)	エリア会議 準備会議	自立支援センター	エリア会議の準備の為の会議	2名
2か月 1回	障害者の豊かな生活を すすめる会総会	青年の家いぶき	活動報告・議案採決等	3名
7/19 9/26 10/31 11/30 12/22 1/16	きょうされん実践交流研修会	大阪障害者センター	実行委員会	1名
8/25 (金)	エリア会議 準備会	自立支援センター	エリア会議の準備 の為の会議	1名
10/19 (木)	豊中市障害者自立支援協議会 臨時全体会議	豊中市立福社会館	臨時全体会議	1名
10/27 (金)	エリア会議 準備会	豊中市立障害福祉センター ひまわり	エリア会議の準備 の為の会議	1名
11/20 (月)	エリア会議	自立支援センター	エリア会議	3名
随時	中長期検討委員会 機関紙編集委員会 暮らしの場検討委員会 啓発活動委員会 研修委員会 年末お楽しみ会 権利擁護委員会 災害対策委員会 その他	法人内施設	メンタルヘルス・人事交流等々 機関紙発行、編集会議等 新設のグループホームの進捗状 況etc 地域交流、啓発等 研修計画等 参加人数や当日の動きの最終確 認etc 事例検討・各事業所の報告、意 思決定支援・危険予測シミレ ーションetc マニュアル作り・防災教育etc	各事業所の担 当者

【利用者の状況】（2018年1月末現在）

一般相談 49名 計画相談（障害児相談支援事業、障害者相談支援事業） 127名

年齢（人）							
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
男	5	15	9	24	18	9	80
女	2	7	8	13	11	6	47
計	7	22	17	37	29	15	127

障害支援区分（人）							
区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	非該当 未判定	合計（人）
37	26	18	15	16	2	13	127

身体障害者手帳所持者（人）					
	肢体 不自由	音声・言語 そしゃく機能 障害	視力 障害	内部機能 障害	合計
1級	22	5	2	2	31
2級	8	3	1	1	13
3級	6	3	0	0	9
4級	3	3	0	1	7
5級	4	0	0	0	4
6級	2	1	0	0	3
計	45	15	3	4	67

療育手帳所持者（人）				精神保健福祉手帳所持者（人）			
	男性	女性	合計		男性	女性	合計
A	37	15	52	1級	1	2	3
B1	6	4	10	2級	6	12	18
B2	6	1	7	3級	8	2	10
合計	49	20	69	合計	15	16	31

指定相談指定事業所に移行 5名 計画終了 5名 他市町村 18名

【職員の状況】（2018年1月末現在）

正職 4名（内1名はグループホーム担当と兼務） 非常勤 なし